もしもの時に役立つように
記入しましょう!!

氏　名		電　話	
住　所			

〔火事と救急〕119番　〔事故と犯罪〕110番
〔田原市災害対策本部〕22-1111
田原市ホームページ　http://www.city.tahara.aichi.jp

あなたの自主防災会は	

緊急連絡先（防災関係機関など）

連 絡 先	電話番号	連 絡 先	電話番号

家族の連絡先

家族の氏名	生年月日	勤務先・学校名	電話（連絡先）

編集発行／田原市役所　防災対策課
TEL.0531-23-3548（直通）
http://www.city.tahara.aichi.jp

2013

自分の命は自分で守る
自分たちの地域は自分たちで守る

防災・減災
お役立ちガイド

田 原 市

CONTENTS

目次

1 過去の地震被害

◎田原市に被害を及ぼした過去の地震

日本やその周辺海域では、毎日どこかで地震が発生しています。過去を振り返ってみると、東南海地震や三河地震のように、大きな被害をもたらした地震も少なくありません。

1945年　三河地震後の田原市街地と思われる貴重な写真(愛知県公文書館蔵)

船倉橋付近の写真

既往地震				田原市における地震の状況		
地震名	発生年月日	震源地	マグニチュード	震度	津波の高さ(m)	市内の被害状況
*明応地震	1498. 9.20	遠州灘	8.3	6	田原　3～4	*解説を参照
天正地震	1586. 1.18	伊勢湾北部	7.8	5～6		畿多内から東海道にかけての地震 余震も長く続いていたという
慶長地震	1605. 2. 3	遠州灘	7.9	6	田原　2～3	関東以西に波及した地震で、海嘯(潮津波)を伴ったとされる
*宝永地震	1707.10.28	遠州灘	8.6	6～7	田原　4～5 豊橋市　6～7 城下	田原領家屋全壊1400、半壊150 野田郷(215戸中)全壊129、半壊86 汐川の堤防崩壊。海新田の堤防破壊
*安政東海地震	1854.12.23	遠州灘	8.4	6	田原　3～4 波瀬　3～4 赤羽根　6～10 池尻 渥美　3～4 宇津江	田原家屋倒壊多し 田原城中の住居残らず大破 田原城大破 津波により、橋・堤に損傷
濃尾地震	1891.10.28	岐阜県西部	8.0	6		岐阜県で発生した内陸直下型地震。渥美郡全体で死者3、負傷者4の被害が記録されている
*東南海地震	1944.12. 7	遠州灘西部	7.9	5～6	0.5	旧田原町で死者2、負傷者1、全壊55、半壊224。旧赤羽根村で死者3、全壊62、半壊214。旧野田村で全壊23、半壊60。旧福江町で死者1、負傷者1、全壊155、半壊336。旧泉村で負傷者1、全壊45、半壊12。田地や埋立地で泥水噴出
*三河地震	1945. 1.13	三河湾	6.8	5～6	0.2～0.3	田原で全壊12、半壊122 谷熊で半壊10

【参考資料】田原町史・赤羽根町史・渥美町史・愛知県防災会議資料

*解説

[明応地震] 伊勢から伊豆の東海道諸国を震撼させた大地震。渥美で地割れ、大津波などがあり、倒壊家屋、死者もあったという。

[宝永地震] 東海沖、南海沖で同時発生。わが国最大の地震の一つで、北海道を除く日本全域に震動が及んでいる。田原城が損壊したほか、野田村、池尻川周辺の村が大破。大津波の発生で、海沿いの住民は山へ逃げ、赤羽根地域では多くの漁船が流損したと記録されている。

[安政東海地震] 東海沖で発生したこの地震は、宝永地震につぐ国内最大級のもの。翌日には紀伊半島沖で南海地震も発生している。田原城が損壊したほか、倒壊家屋が多数発生したが、幸い火災はなかった。太平洋岸のほうべ(崖)も大きく崩れた。大平洋岸、三河湾とも大津波が襲った。

[東南海地震] 旧田原町で2名、旧赤羽根村で3名、旧福江町で1名の尊い命を奪った大地震。田原では柳町南側や旭町西側(萱町地区)で全倒壊する家屋が多く、久美原の集落も半分以上倒壊したと記録されている。また、各所で泥水が噴出する液状化現象が見られた。

[三河地震] 昭和東南海地震のわずか1か月後に発生した三河湾を震源地とする内陸型の地震。家屋の全倒壊など多くの被害を及ぼし、余震も永く続き、1か月近く、野外の小屋で寝起きしたと記録されている。

2 地震の基礎知識

◎地震はプレートの移動によって起きる

地球の表面は、十数枚のプレートと呼ばれる厚さ数十kmほどの岩盤によって隙間なく敷きつめられています。プレートがマントルの動きに従って年間数cmから10数cmの速さで移動しながら、ぶつかり合ったり、潜り込んだり、すれ違ったりしています。プレートどうしの境界線では、プレートがお互いに影響し合い、その結果、大山脈、海溝、海底山脈などの大規模な地形の形成や地震・火山活動を引き起こしているのです。

日本列島付近には、プレートが4枚あり、太平洋プレートは西向きに、フィリピン海プレートは北北西の向きに日本列島に向かって動いています。そして、それぞれ日本列島の下に潜り込んでいます。

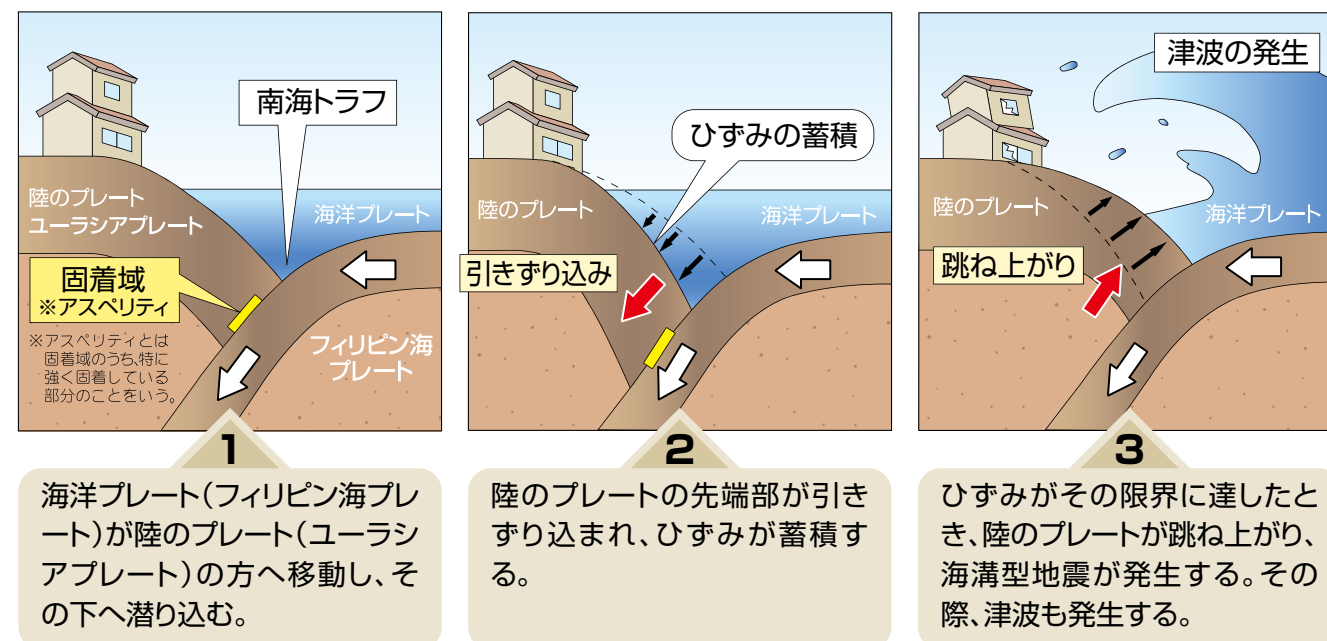
日本列島とその周辺で発生する規模の大きな地震について、タイプ分けすると「プレートの境界である海溝やトラフ付近で発生する地震（海溝型地震）」と「陸域のプレート内部での断層運動により発生する地震（活断層型地震）」に分けられます。

日本列島付近のプレート

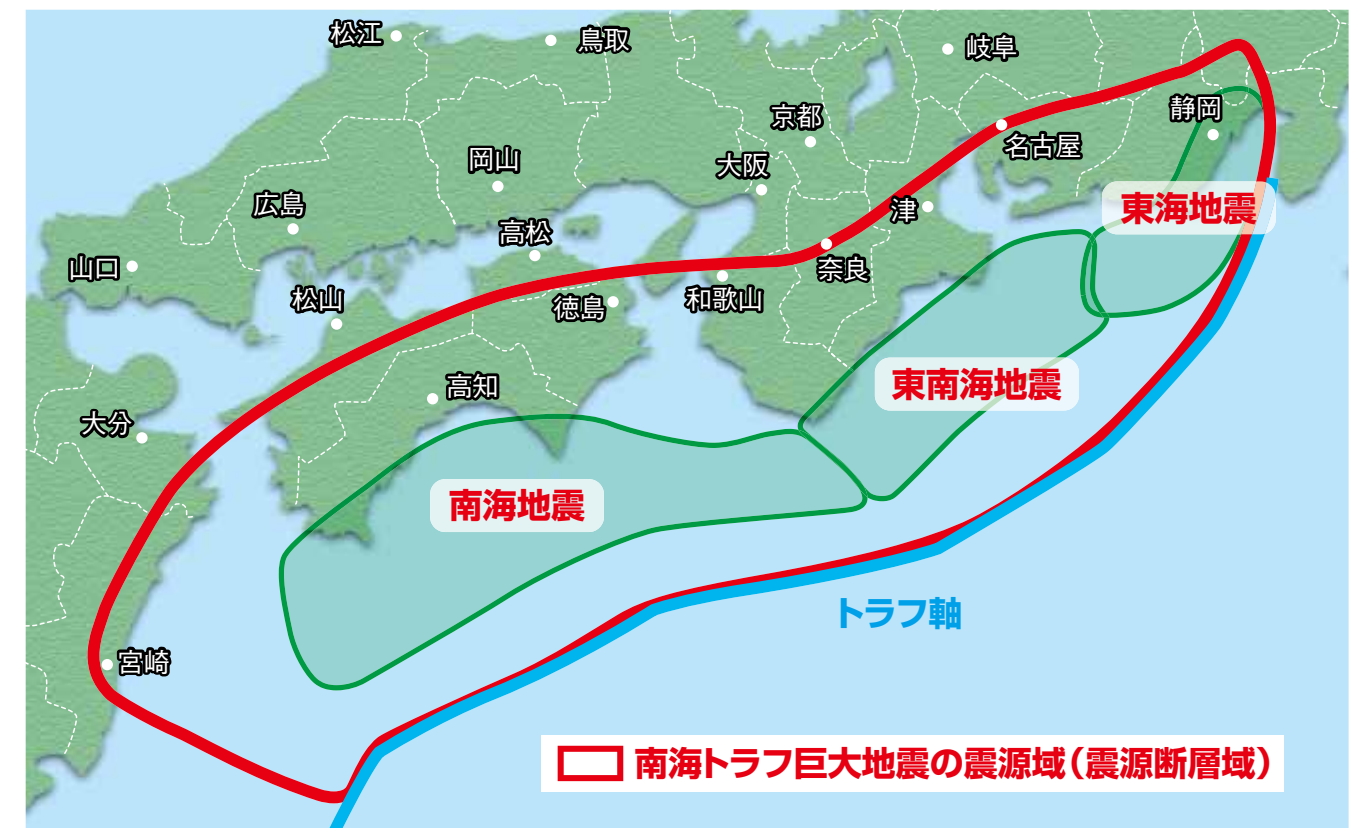
地震発生のしくみ（海溝型地震）

1 海洋プレート（フィリピン海プレート）が陸のプレート（ユーラシアプレート）の方へ移動し、その下へ潜り込む。

2 陸のプレートの先端部が引きずり込まれ、ひずみが蓄積する。

3 ひずみがその限界に達したとき、陸のプレートが跳ね上がり、海溝型地震が発生する。その際、津波も発生する。

（地震調査研究推進本部資料から作成）

◎田原市で発生が心配される地震

1 東 海 地 震：M8.0　今後30年の発生確率88%
2 東南海地震：M8.1　今後30年の発生確率70%
3 南 海 地 震：M8.4　今後30年の発生確率60%
4 東海・東南海地震：M8.3
5 東海・東南海・南海地震：M8.7（津波はM8.8）
6 南海トラフ巨大地震：M9.0（津波はM9.1）

◎南海トラフ巨大地震とは

駿河湾から宮崎県沖に延びる海底のくぼみ（南海トラフ）の一帯を震源域（震源断層域）とする地震で、東海、東南海、南海地震の震源域をひと回り大きくした区域が、揺れたり、割れたり、滑ったりして巨大地震を発生させます。東海地方が最も大きく被災するケースでは、東日本大震災を大きく上回る被害が想定されています。

■倒壊家屋（東海地方が大きく被災するケース）　単位：棟

	揺　れ	液状化	津　波	急傾斜地崩壊	火　災	計
愛知県	約243,000	約23,000	約2,600	約400	約119,000	約388,000
全国計	約1,346,000	約134,000	約146,000	約6,500	約750,000	約2,382,000

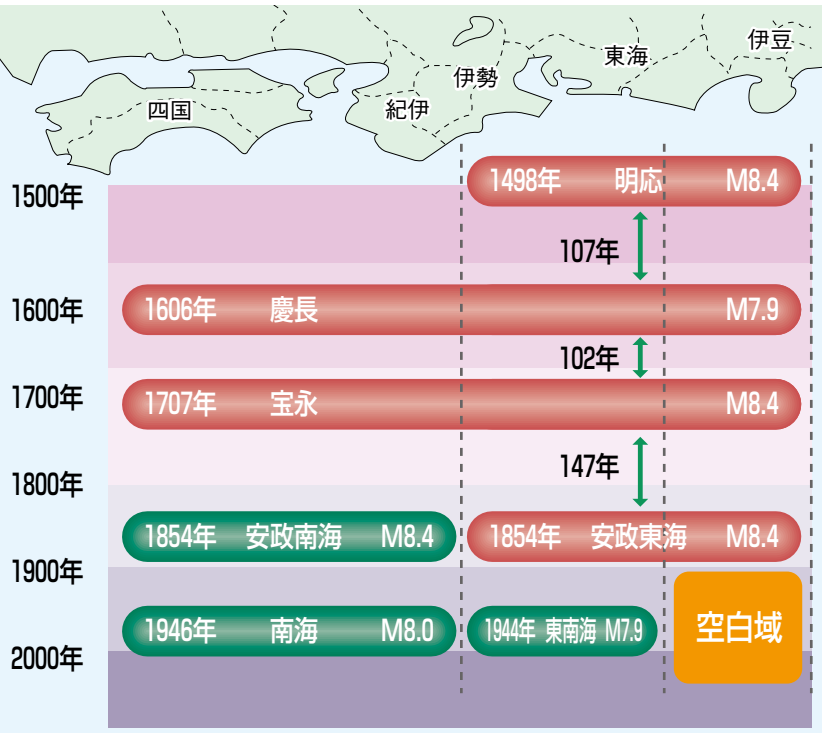
■死者（東海地方が大きく被災するケース）　単位：人

	建物倒壊	津　波	急傾斜地崩壊	火　災	屋外落下物	計
愛知県	約15,000	約6,400	約50	約1,800	—	約23,000
全国計	約82,000	約230,000	約600	約10,000	約30	約323,000

◎周期的に起こる大地震

東海から四国までの過去の大地震

歴史はくり返す!!

過去を振り返ってみると、日本列島の太平洋側ではプレートの潜り込みによる地震が、100年～150年周期で起こっていることがわかりました。東海地震の震源となる駿河湾から御前崎沖では、1854年の安政東海地震以来150年以上にわたって大地震がなく、空白域となっています。地震のエネルギーが蓄積され、プレートの潜り込みによる歪み(ひずみ)が限界に達しているといわれています。近々、東海地方に大きな地震が起こるという根拠は、ここにあります。

兵庫県南部地震と東北地方太平洋沖地震

兵庫県南部地震(阪神･淡路大震災)

- 1995年(平成7年)1月17日 5時46分発生 M7.3
- 多くの木造家屋、コンクリートの建物、高速道路、鉄道線路などが崩壊
- 死者6,434人、行方不明者3名、負傷者43,792名
- 死者の**80%以上**が家屋の崩壊による圧死、**約10%**が焼死
- 住家：全半壊24万戸以上、全半焼6千戸以上

東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)

- 2011年(平成23年)3月11日 14時46分発生 M9.0
- 各地に津波襲来(最大波15m以上)
- 死者15,882人、行方不明者2,668名、負傷者6,142名(H25.3.11現在)
- 死者の90%以上が津波による溺死
- 住家：全半壊39万戸以上

(警視庁資料から作成)

震度階級ごとの被害の様相〈気象庁震度階級関連解説表〉

震度は、地震動の強さの程度を表すもので、計測震度計を用いて観測します。この表は、ある震度が計測された場合、その周辺で実際にどのような現象や被害が発生するかを示すものです。

屋内及び家屋などの被害状況のめやす

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	木造建物(住宅)
5弱	大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	耐震性の低い木造建物の場合、壁などに軽微なひび割れ･亀裂がみられることがある。
5強	大半の人が、物につかまらないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類、書棚の本で落ちるものが多くなる。テレビが台から落ちることがある。固定してない家具が倒れることがある。	耐震性の低い木造建物の場合、壁などにひび割れ･亀裂がみられることがある。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	耐震性の低い木造建物の場合、壁などに大きなひび割れ･亀裂が入ることがある。瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。耐震性の高い建物でも、壁などに軽微なひび割れ･亀裂がみられることがある。
6強	立っていることができず、這(は)わないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。	耐震性の低い木造建物の場合、壁などに大きなひび割れ･亀裂が入るものが多くなる。傾くものや、倒れるものが多くなる。耐震性の高い木造建物でも、壁などにひび割れ･亀裂がみられることがある。
7		固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	耐震性の低い木造建物の場合、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。耐震性の高い建物でも、壁などのひび割れ･亀裂が多くなる。まれに傾くことがある。

用語 マグニチュード(M)と震度

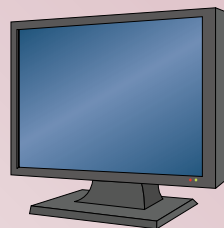
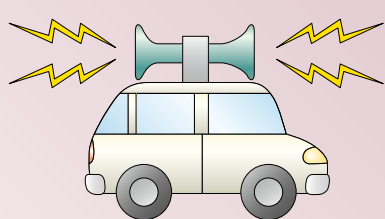
「マグニチュード」とは地震そのもののエネルギーの大きさを表し、「震度」とはある地点における地震の揺れの激しさを表します。
電球でいいかえると、20ワットとか100ワットのように表される電球そのものの明るさにあたるのが「マグニチュード」です。一方、どんな電球であっても電球からの距離が遠くなるほど暗くなり、近づけば明るくなります。このように、それぞれの位置における明るさに相当するのが「震度」です。

3 地震による津波の発生

◎津波がやってくる!!

海岸や河川、避難対象区域にいる人は、ただちに高台へ避難してください。

強い地震が起こったら（弱い地震であっても、長い時間ゆっくりとした揺れを感じた時にも）

大津波警報・津波警報が出たら（揺れを感じなくても）

ラジオ・テレビ・市の情報（広報用スピーカー、広報車など）に注意!

ただちに避難!

海岸や河川、避難対象区域にいる人はただちに高台へ

◎津波警報・注意報

	予想される津波の高さ		とるべき行動
	数値での発表	巨大地震の場合の表現	
大津波警報	10m超	巨大	ただちに高台などの安全な場所へ避難（より高く）
	10m		
	5m		
津 波 警 報	3m	高い	
津波注意報	1m	（表記しない）	ただちに海岸付近から離れる

マグニチュード8を超える巨大地震の場合は、正しい地震の規模をすぐには把握できないため、最大級の津波を想定して発表します。最初の発表では、「**巨大**」、「**高い**」という言葉を使い、非常事態であることを伝えます。

◎津波から身を守る

津波の特徴

- 引き波があるとは限らない
- 海が深いほど速く伝わり、浅くなれば遅くなるが波高は高くなる
- 何度も何度も繰り返し押し寄せてくる
- 第一波が最も大きいとは限らない
- 川や水路をさかのぼり溢れる
- 揺れが小さくても大津波が起こることがある
- 地球の反対側からでも伝わってくる

津波避難のポイント

◆強い揺れや弱くても長い時間の揺れを感じたら、ただちに海岸や河川から離れ、高台などの安全な場所に避難

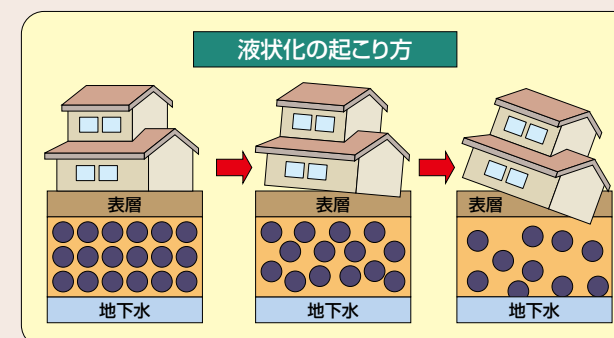
◆「地震の揺れの大きさ＝津波の大きさ」ではない。地震の揺れが小さくても、大津波が起こることがある

◆津波は繰り返し押し寄せてくる。安全なところに避難したら、警報・注意報が解除されるまで絶対に戻らない

用語

液状化とは?

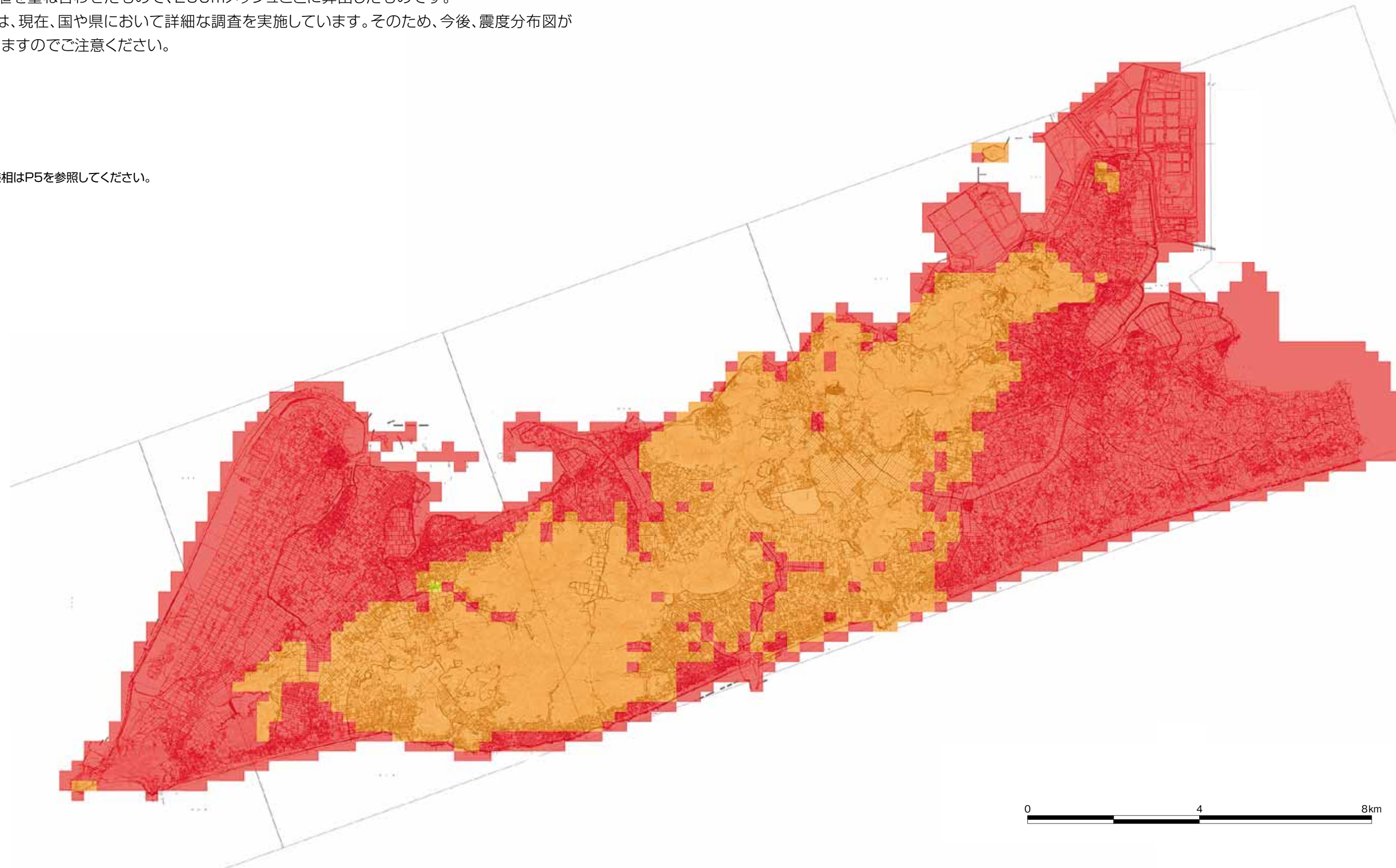
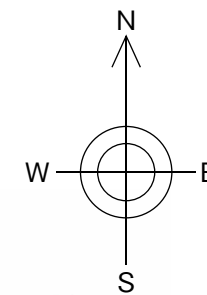
水分を多く含んだ砂の層などのやわらかい地盤が、地震で揺れると液状化になり、建物の沈み込みや、地面からの泥水・砂のふき出し、地中のガス管などのうきあがりなどの現象が起こります。

4 田原市の推定震度分布図

◎推定震度分布図（南海トラフ巨大地震）

本図は、平成24年8月29日に国から発表された想定される南海トラフ巨大地震の5つのケースにおける震度分布の最大値を重ね合わせたもので、250mメッシュごとに算出したものです。
震度分布については、現在、国や県において詳細な調査を実施しています。そのため、今後、震度分布図が変更することもありますのでご注意ください。

※震度階級ごとの被害様相はP5を参照してください。

N
W
E
S

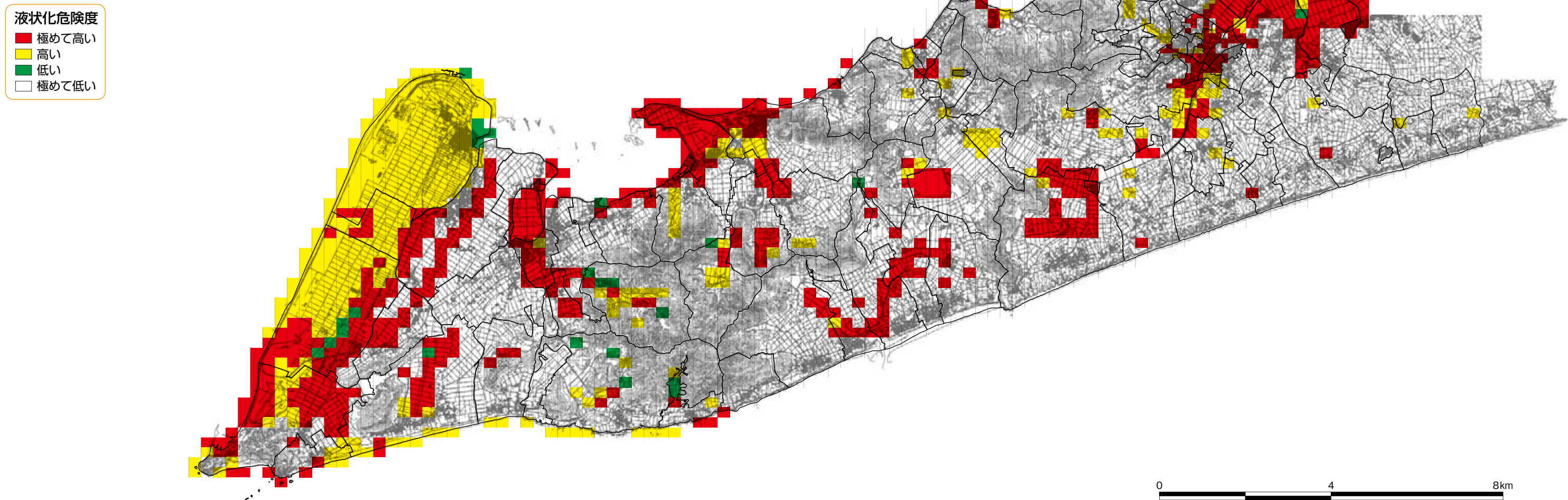
0
4
8km

5 田原市の推定液状化危険度分布図

◎推定液状化危険度分布図（東海・東南海・南海地震）

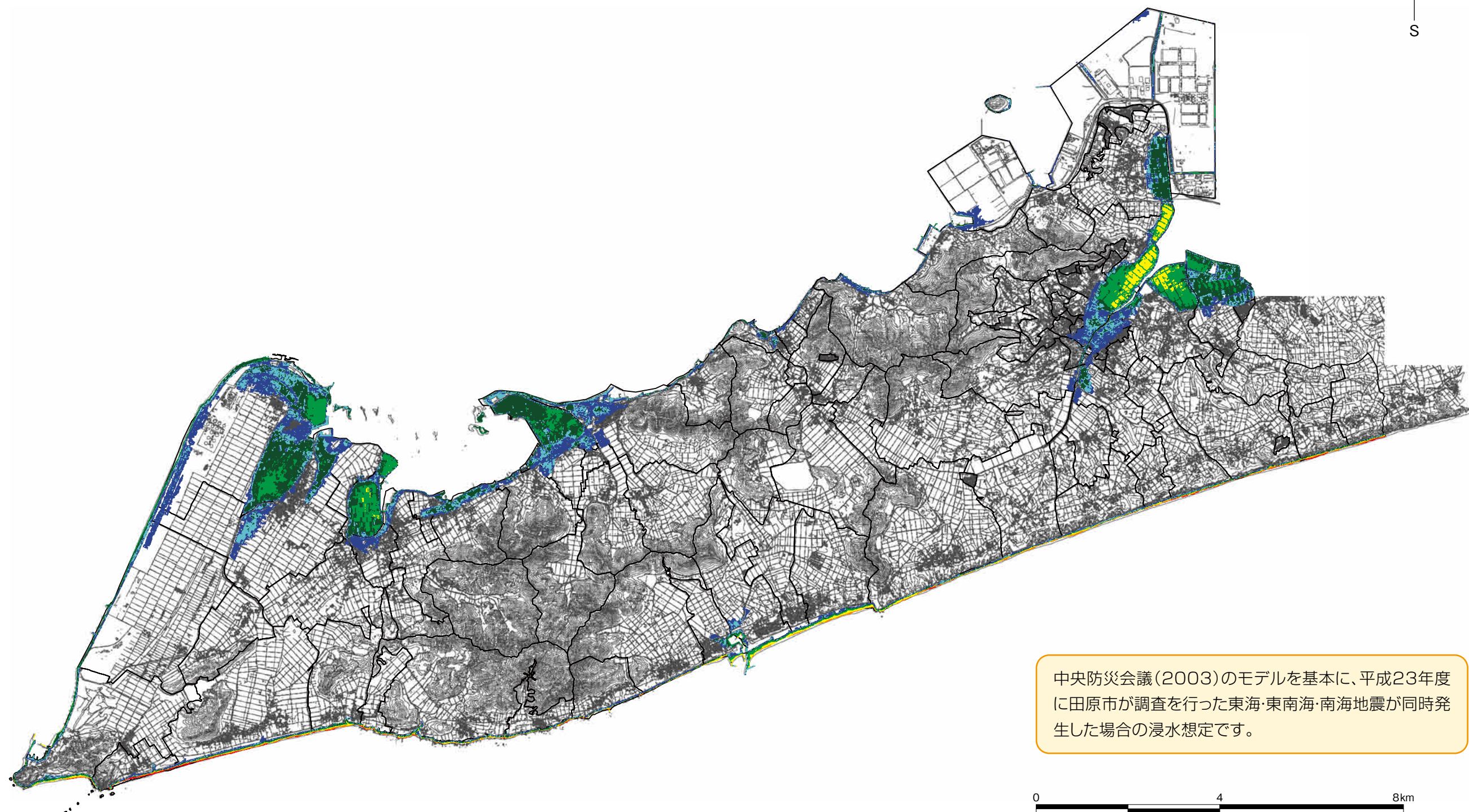
本図は、想定される東海·東南海·南海地震が同時に発生した場合の液状化危険度を、「道路橋示方書·同解説V耐震設計編(2002)」に示されている方法に従い、PL値を用いて作成したものです。地質ボーリング柱状図資料のない地域は表層地番区分を基に判定しました。

PL値による液状化の判定区分

PL値	液状化危険度判定
15<PL	液状化危険度が極めて高い
5<PL≦15	液状化危険度が高い
0<PL≦5	液状化危険度は低い
PL=0	液状化危険度は極めて低い

注）PL値とは、地盤を構成する地下の地層毎の液状化抵抗率（FL）を基に算出した地盤全体の抵抗力

6 田原市の推定津波浸水分布図（東海·東南海·南海地震）

◎推定津波浸水分布図（東海·東南海·南海地震）

本図は、想定される東海·東南海·南海地震が同時に発生した場合（マグニチュード8.8）の、満潮位かつ堤防がない場合の浸水域及び浸水深を示したものです。

中央防災会議（2003）のモデルを基本に、平成23年度に田原市が調査を行った東海·東南海·南海地震が同時発生した場合の浸水想定です。

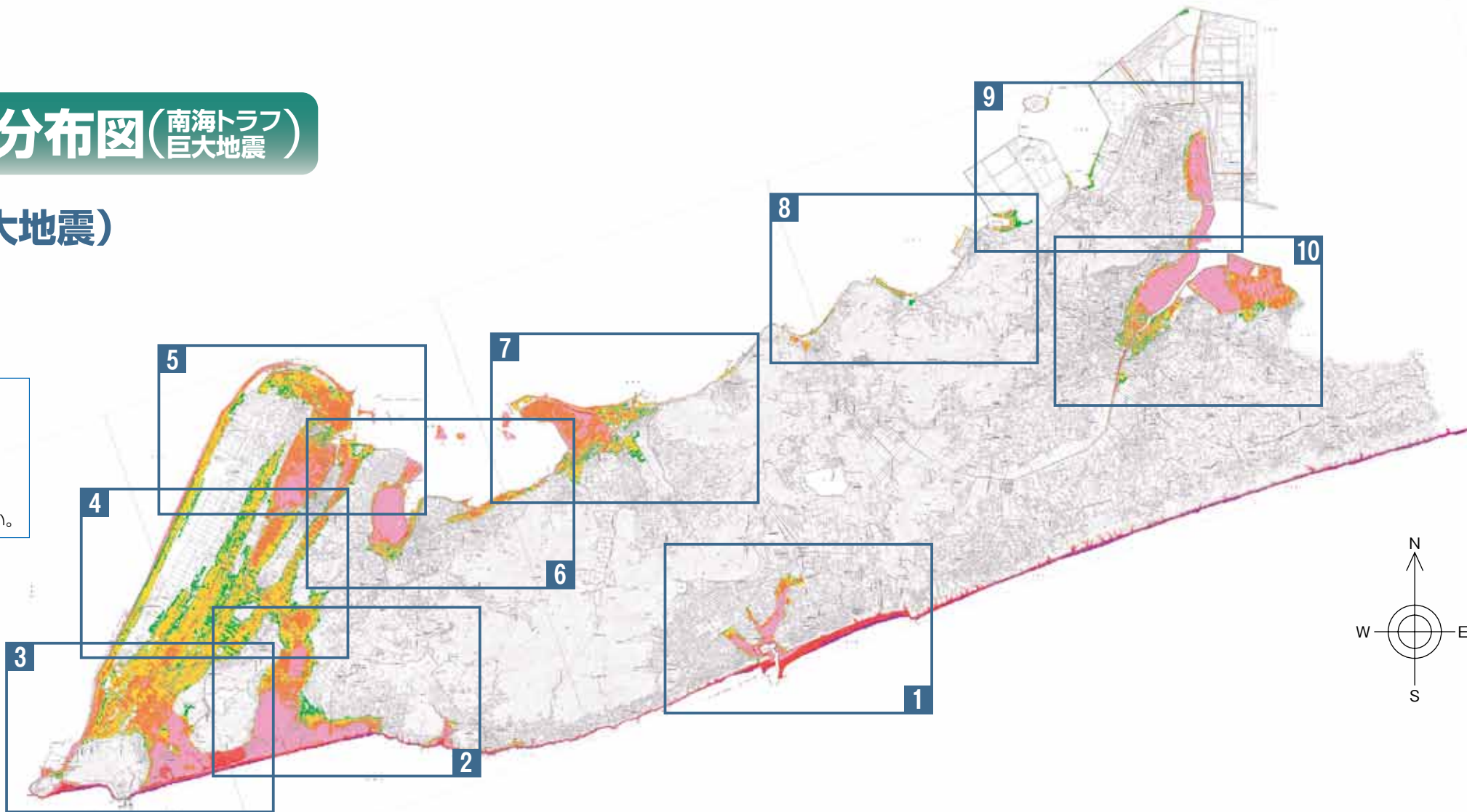
7 田原市の推定津波浸水分布図（南海トラフ巨大地震）

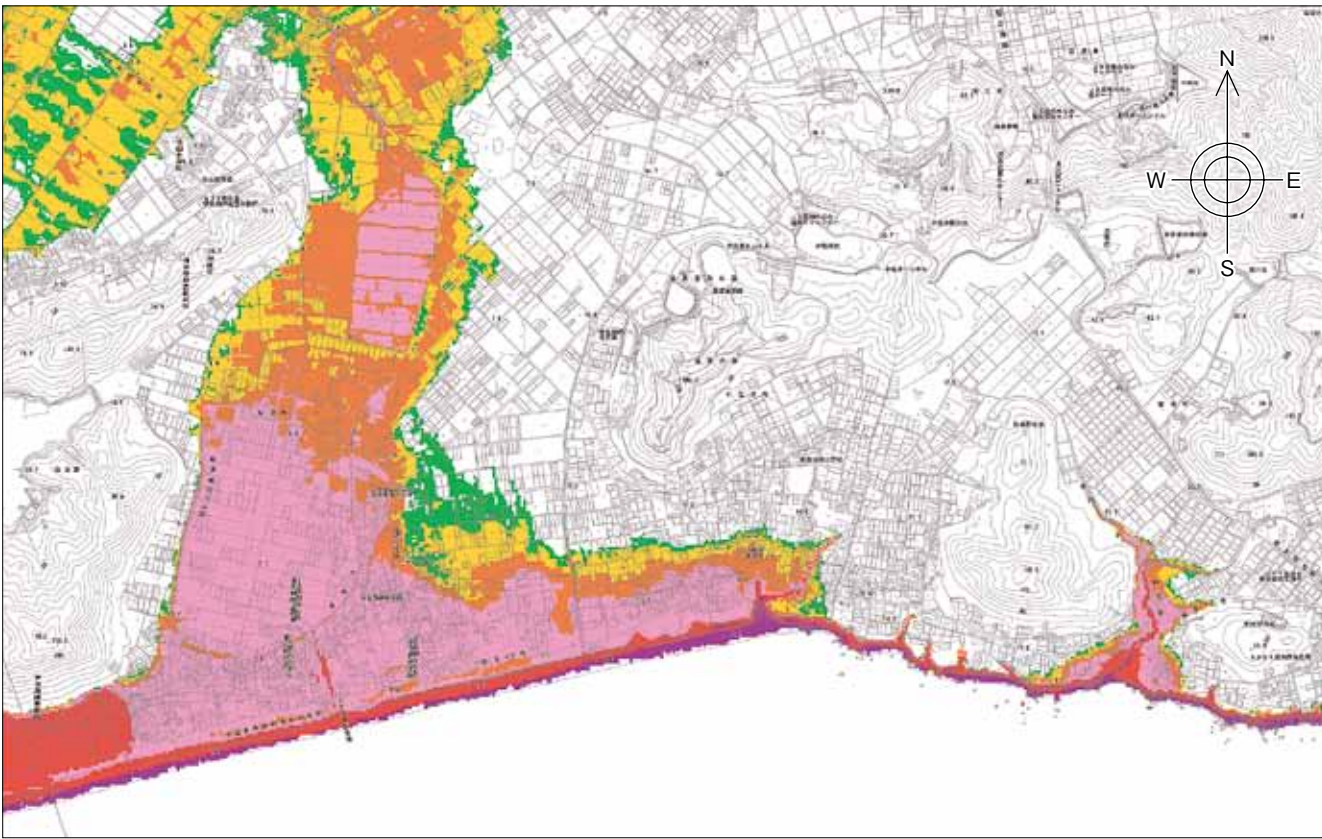
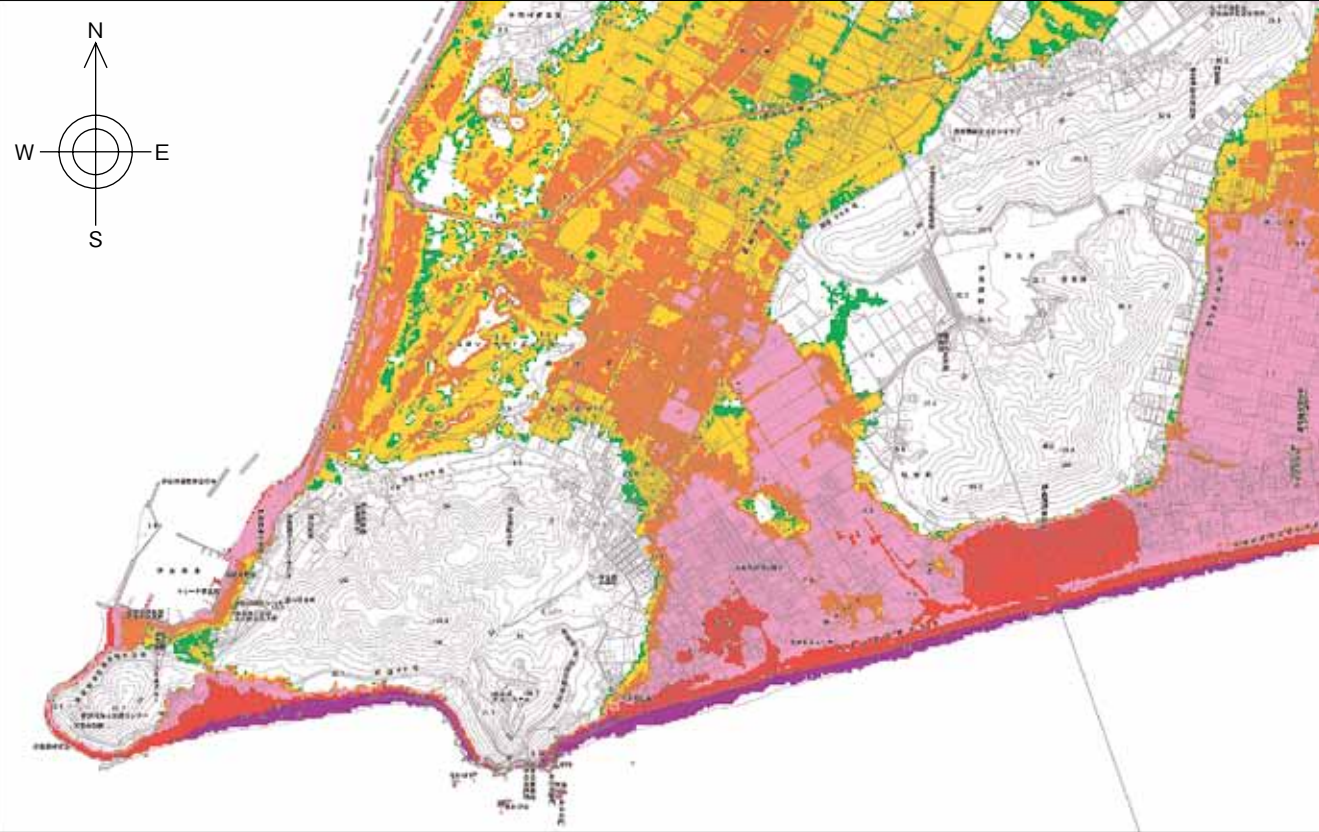
◎推定津波浸水分布図（南海トラフ巨大地震）

本図は、平成24年8月29日に国から発表された想定される南海トラフ巨大地震（マグニチュード9.1）の、満潮位かつ堤防が3分後に破堤する場合の浸水域及び浸水深を示したものです。

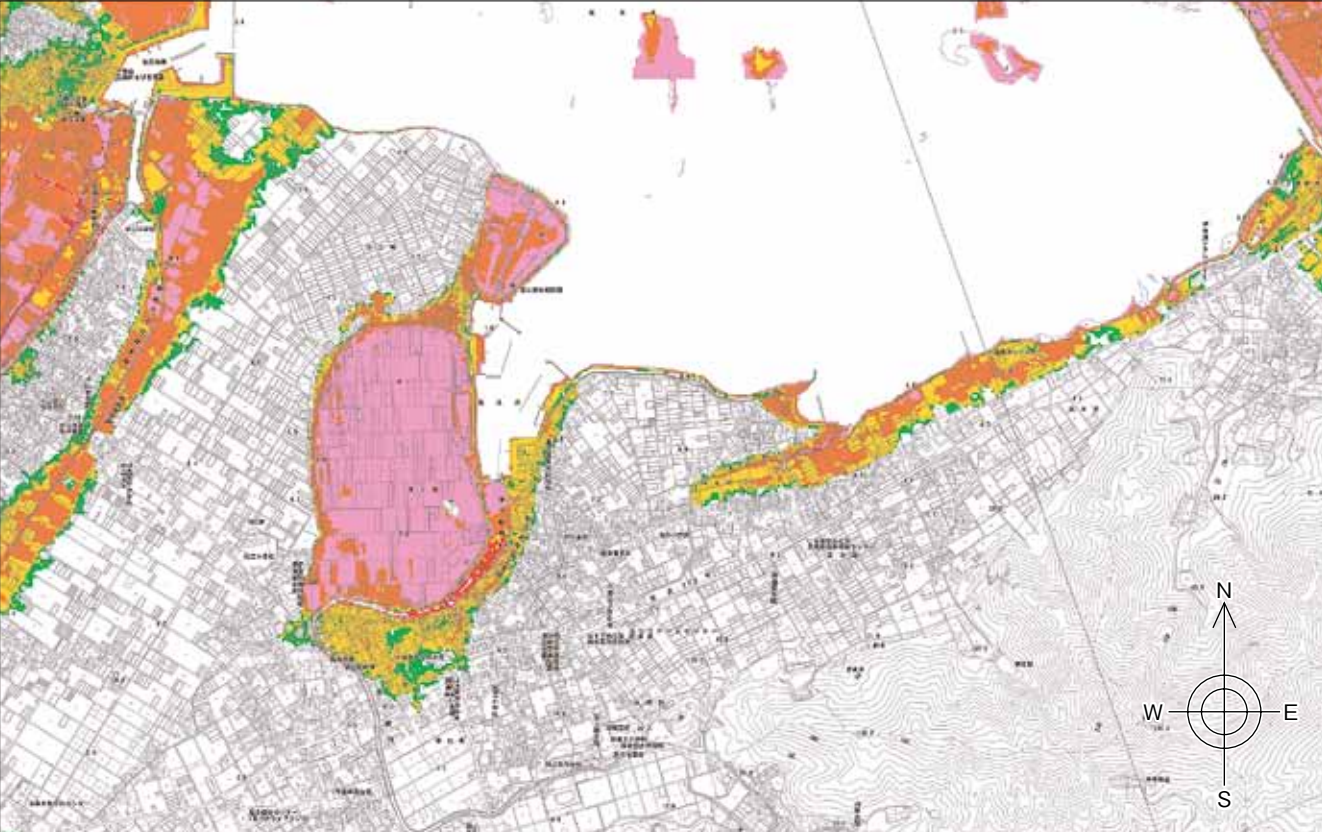
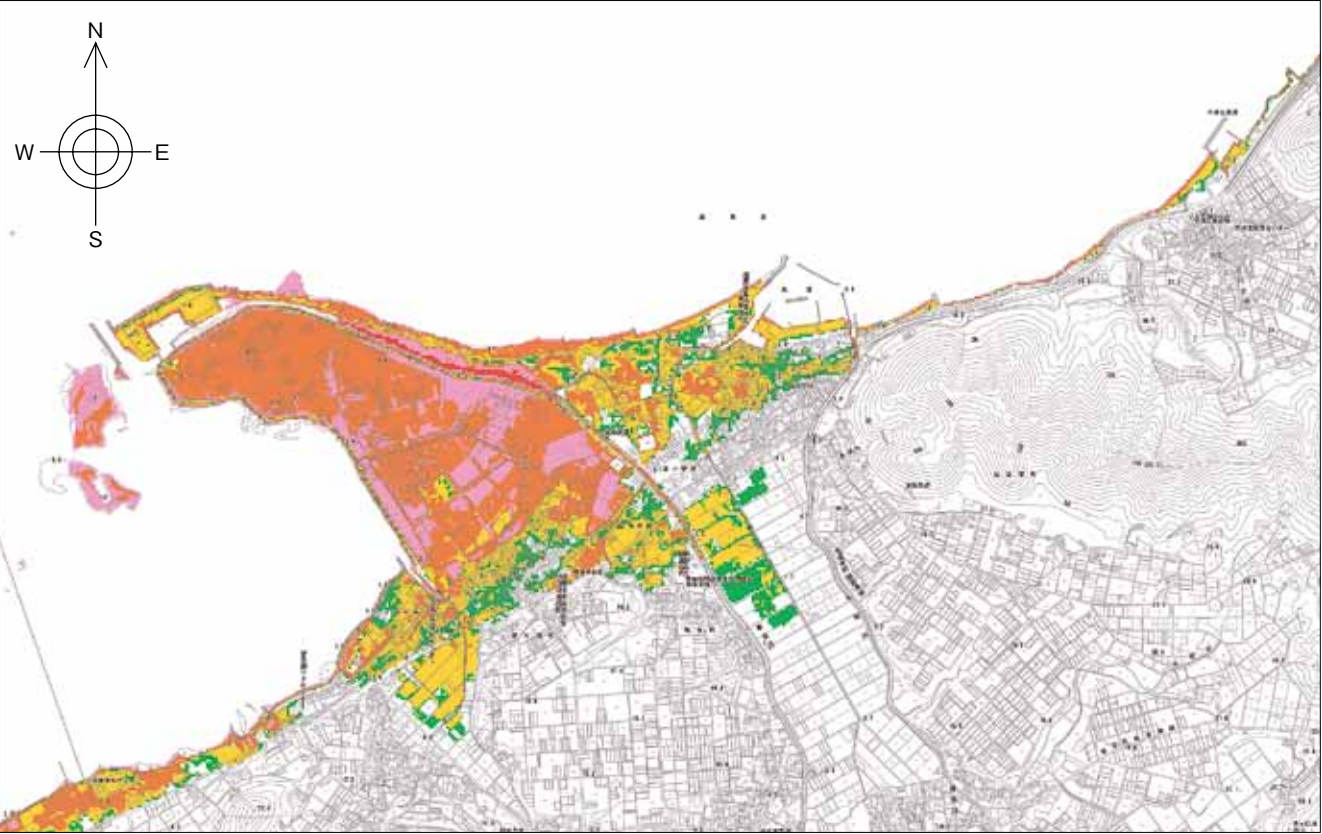
※出典：内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」
【留意事項】
■ケース①「駿河湾～紀伊半島沖」に「大すべり域+超大すべり域」を設定したものであり、堤防条件は「地震発生3分後破堤」である。
■潮位条件は「満潮位(H24年気象庁潮位表の年間最高潮位を参考)」としている。
■地殻変動による地盤の沈降は考慮するが、液状化現象による地盤の沈下等は考慮しない。

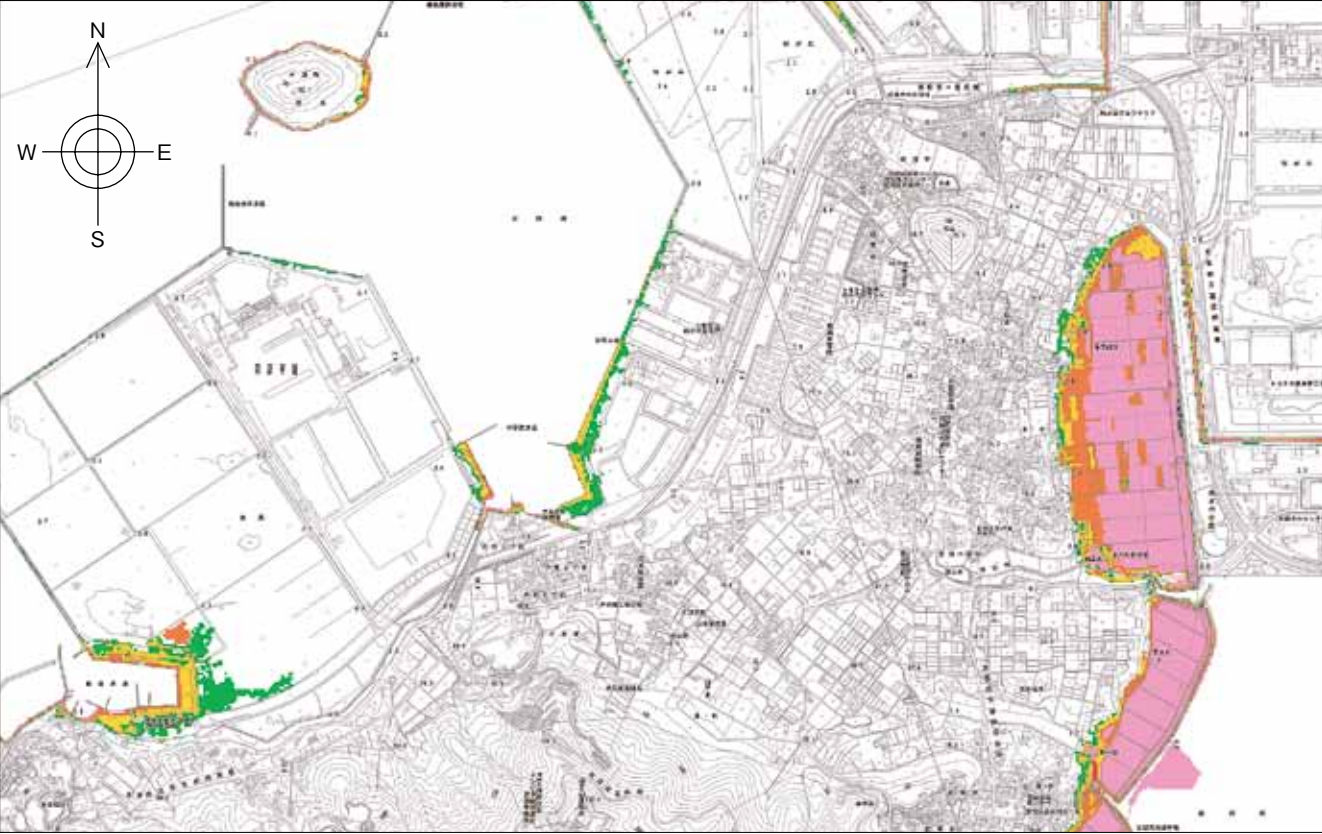
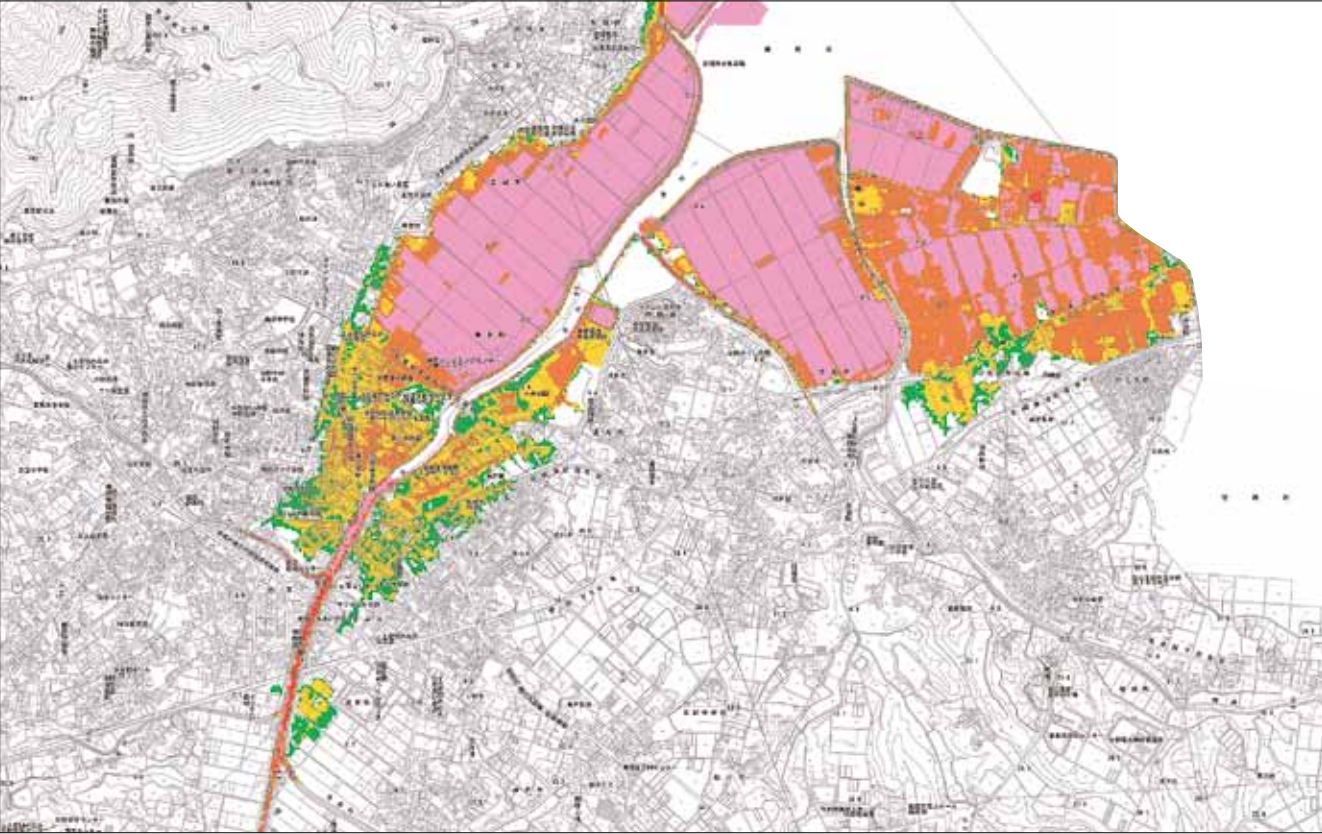
浸水深（m）

浸水深（m）
20.0 －
10.0 － 20.0
5.0 － 10.0
2.0 － 5.0
1.0 － 2.0
0.3 － 1.0
0.01 － 0.3

■詳細図1

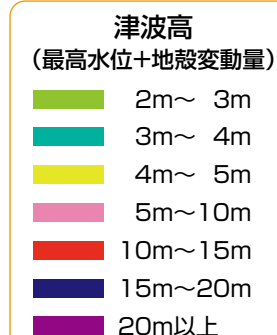
■詳細図2

■詳細図3

■詳細図4

■詳細図5

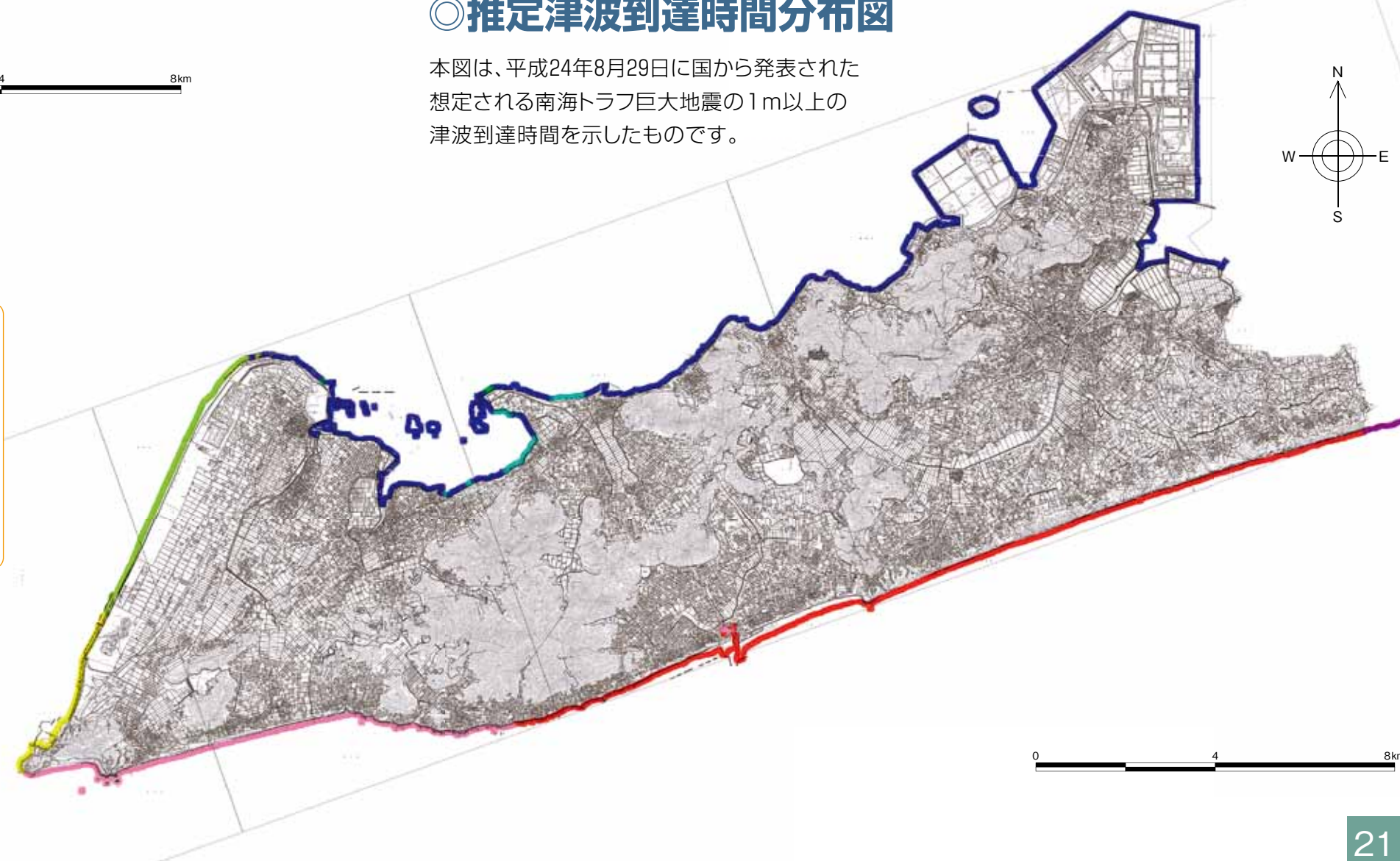
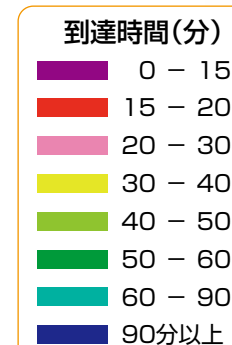
■詳細図6

■詳細図7

■詳細図8

■詳細図9

■詳細図10

8 田原市の推定津波高分布図

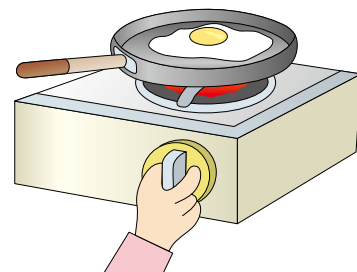
◎推定津波高分布図

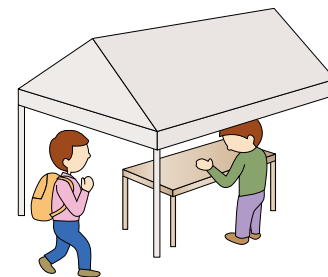
本図は、平成24年8月29日に国から発表された想定される南海トラフ巨大地震の津波高を示したものです。

9 田原市の推定津波到達時間分布図

◎推定津波到達時間分布図

本図は、平成24年8月29日に国から発表された想定される南海トラフ巨大地震の1m以上の津波到達時間を示したものです。

10 突然地震が起きたら?

3秒

- 激しい揺れは1～2分続きます。あわてて外に飛び出したりせず、冷静に行動を。
- 地震発生直後は、わが身の安全確保が最優先!
- 火災は被害を大きくする! 揺れがおさまったら直ちに消火。ただし、危険を伴うので無理はしない。

3分

- 家族の次は隣近所。近所に火の手は? 消火活動はみんなに呼びかけ、みんなで協力を!
- 大地震の後には余震が発生します。気を抜かずに行動を。
- 傾いた家などには入らない、近寄らない! 斜面の亀裂などにも注意。
- 小さなケガなら家族で手当てを。

避難する場合は

- 自宅を離れる時は、家族の安否、行き先などが分かるよう伝言メモを分かりやすいところへ。
- 子供の迎えは、あらかじめ決められた方法で、決められた場所で。
- 余震などで傾いたブロック塀や自動販売機が倒れることも。看板や窓ガラスの落下にも注意。
- 通園･通学路、避難路などは、日頃から危険箇所のチェックを。

～3日

- 発災後数日は、物資の援助は期待できない。日頃の備えの大切さが分かるとき。しばらくは非常持出品や備蓄食糧で我慢しよう。
- 壊れた家に入るのは非常に危険。せっかく助かった命、二次災害防止に努めよう。

3秒
地震だ!
- 落ち着け!
- 身を守れ!
- 玄関をあけろ!

1～2分
揺れがおさまったら
津波、山･崖崩れの危険が予想される地域はすぐ避難
- 火元を確認!
- 家族は大丈夫か
- 靴を履く!
- 非常持出品!

3分
周囲の確認を!
- 隣近所は無事か?
- 近くの火は?

大声で知らせろ!
消火器を使え!
バケツリレーだ!
- 余震に注意!

5分
正確な情報をつかめ!
- ラジオをつけろ!

市の同報無線情報を確認!
- デマにまどわされるな!
- 電話はなるべく使わない!

緊急連絡優先!
危険!
- 車で逃げるな!

避難する場合は
子供を学校などへ迎えに!
- ガス栓を閉めろ!
- ブレーカーを切れ!
- 行き先メモを玄関に!
- ブロック塀の倒壊や自販機の転倒、看板やガラスの落下に注意!

10分～数時間
- みんなで消火活動!
- みんなで救出活動!

消火・救出が困難な場合は消防署などへ通報!
簡単な手当ては自分で!

～3日
- 生活必需品は備蓄でまかなえ!

水・食料・ラジオ・懐中電灯・常備薬など
- 市の広報に注意!
- 壊れた家に入るな!
- 無理はやめよう!
- がまんと助け合い!

避難所では
3ヶ条
- 自主防災会を中心に!
- ルールを守れ!
- 助け合おう!

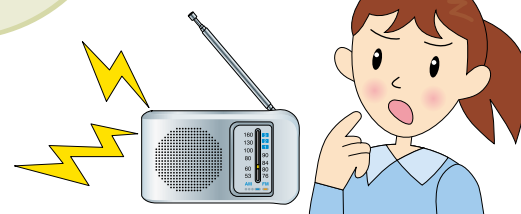
災害時要援護者に心づかい!
(P.47参照)

1～2分

- 火災が発生しても、あわてずに初期消火。家族や火元の安全確認が済んだら次の行動へ。
- 危険予想地域では、速やかに安全な場所に避難。
- 津波はあっという間にやって来る。

5分

- デマが飛び交う時期。最新の正確な情報を入手しよう。自分からの情報発信も、確認したことだけをありのままに。
- 電話の使用は極力避ける。安否情報は、「災害用伝言サービス」を利用。

P26･27参照

10分～数時間

- 消火活動、救出救助活動は、地域住民が一丸となって。
- 消防署には必ず通報。火の手が大きくなったら危険が伴うので注意。
- 万が一、倒壊した家に閉じ込められたら、大声で救助を求めよう。ナベやフライパンを叩いて、音で居場所を知らせよう。
- ケガ人の搬送には身近な物を活用して。毛布や衣類と物干し竿があれば担架ができる。

避難所では

- 避難所は共同生活の場。あらかじめ決められたルールを守り、お互いの協力と助け合いの精神で。身体の不自由な方や負傷者などには温かな心づかいを。

(静岡県資料に加筆)

◎地震発生 そんなときどうする

屋内編

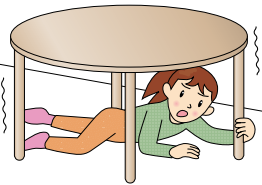
集合住宅／エレベーター

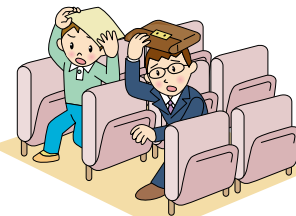
- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 避難にエレベーターは絶対使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

デパート・スーパー

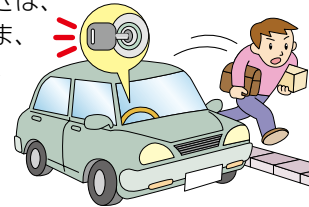
- カバンなどで頭を保護し、陳列ケースや商品棚から離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ちついた行動を。

家の中

- 揺れを感じたら、テーブルなどの下に隠れ、身を守る(余裕がなければ、身近の座布団などで頭を保護する)。
- 火の始末はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。

劇場・ホール

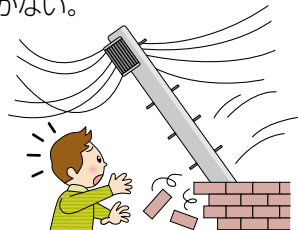
- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠す。係員の指示を聞き、あわてず冷静な行動を。

屋外編

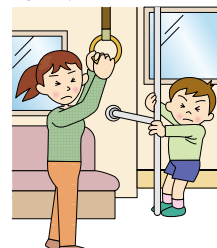
車を運転中

- 急ブレーキはかけず、徐々にスピードを落とし、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難を。

海岸付近

- 揺れを感じたら、ただちに高台へ避難し、津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

路 上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意。
- 近くに空き地などのないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。

電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ちついた行動を。

(愛知県資料から作成)

11 緊急地震速報

◎緊急地震速報とは

地震をすばやくキャッチし、強い揺れが始まることを数秒から数十秒前にお知らせする情報で、テレビ・ラジオ・携帯電話などを通じて入手できます。
※震源に近い場所では、強い揺れに間に合わないことがあります。

◎緊急地震速報を見聞きしたときは

➡ 強い揺れが来るまでの間に、身を守るための行動を取る必要があります。

あわてず、まずは身の安全を!!

12 避難情報

◎避難情報の流れ

避難準備情報

避難の準備をしましょう。災害時要援護者の方など、特に避難行動に時間を必要とする人は、避難を始めてください。支援者は要援護者の方への支援行動を始めてください。

▶

避難勧告

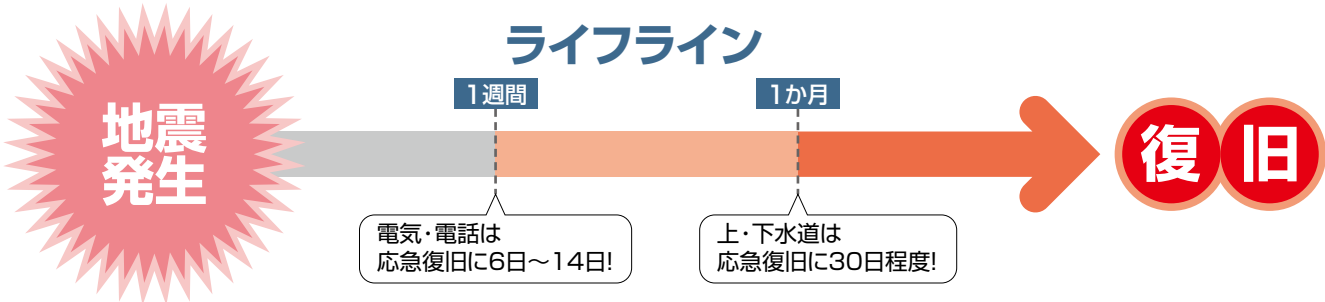
安全のため、通常の避難行動ができる方は、避難を始めてください。
(避難を強制するものではありません。)

▶

避難指示

危険が迫っています。
ただちに避難してください。

13 ライフラインの復旧

ライフラインの応急復旧には、電気･電話は1週間程度、LPガスは1～2週間程度、上下水道は1か月程度かかると予想されます。毎日当然のように使っているこれらのライフラインが、例えば、1週間でもまったく使えなくなったことを想像してみてください。こういう時こそ、日頃の食料、飲料水などの備蓄が役立ちます。

14 災害用伝言サービス

NTT災害用伝言ダイヤル「171」

被災地の方が、自宅の電話番号宛に安否情報（伝言）を音声で録音（登録）し、全国からその声を再生（確認）することができます。

使用の手順

伝言の登録方法	伝言の確認方法
171をダイヤル	171をダイヤル
ガイダンスが流れる	ガイダンスが流れる
1をダイヤル	2をダイヤル
ガイダンスが流れる	ガイダンスが流れる
0531-△△-XXXX 自宅の電話番号を市外局番からダイヤル	安否を確認したい人の電話番号を市外局番からダイヤル 0531-△△-XXXX
ガイダンスが流れる	「○○町の田原太郎は○○小学校に避難しています。家族全員無事です。」と再生されます。
30秒以内で録音	
例えば…「○○町の田原太郎は○○小学校に避難しています。家族全員無事です」	

- 利用可能な端末：一般電話、公衆電話、携帯電話、PHS
- 1電話番号あたり1～10伝言
- 1伝言あたり30秒以内
- 保存期間は、録音してから2日間（48時間）
- 保存期間を経過した時点で自動的に消去されます。

- 災害用伝言ダイヤルの体験利用ができます。

【利用可能期間】
•毎月1日、15日（0:00～24:00）
•正月三が日（1月1日 0:00～1月3日 24:00）
•防災週間（8月30日 9:00～9月5日 17:00）
•防災とボランティア週間
（1月15日 9:00～1月21日 17:00）

災害用伝言板

携帯電話･PHSのインターネット接続機能で、被災地の方が伝言を文字によって登録し、携帯電話･PHS番号をもとにして全国から伝言を確認できます。（スマートフォンでのご利用については、各社のホームページで確認してください。）

伝言の登録方法

1. 携帯電話･PHSから災害用伝言板にアクセスします。
2. 「災害用伝言板」の中の「登録」を選択します。
3. 現在の状態について、「無事です」等の選択肢から選び、任意で100文字以内のコメントを入力します。
4. 最後に「登録」を押して、伝言板への登録が完了となります。

伝言の確認方法

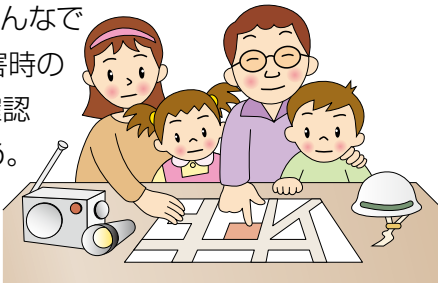
1. 災害用伝言板にアクセスします。
2. 「災害用伝言板」の中の「確認」を選択します。
3. 安否を確認したい人の携帯電話･PHS 番号を入力し、「検索」を押します。
4. 伝言一覧が表示されますので、詳細を確認したい伝言を選択してください。

- 1電話番号あたり1～10伝言
- 1伝言あたり30秒以内
- 保存期間は、1つの災害での災害用伝言板を終了するまで
- 災害用伝言板の体験利用ができます。

【利用可能期間】
- 毎月1日、15日（0:00～24:00）
- 正月三が日（1月1日 0:00～1月3日 24:00）
- 防災週間（8月30日 9:00～9月5日 17:00）
- 防災とボランティア週間（1月15日 9:00～1月21日 17:00）

（総務省資料から作成）

日頃から家族で話し合おう

大地震が起きたときなどは、家族がバラバラになり、安否確認ができなくなるおそれがあります。日頃から家族みんなで話し合って、災害時の対応について確認しておきましょう。

- ☐ 災害時の連絡（安否確認）方法
- ☐ 避難場所や避難方法、避難経路の確認
- ☐ 非常持出品、備蓄品の確認
- ☐ 自宅周辺の防災マップの確認
- ☐ 家具転倒防止対策
- ☐ 高齢者や乳幼児、ペットなどの避難方法

15 田原市安心安全ほっとメール

田原市では安心して暮らせる安全なまちづくりの一環として、携帯電話やパソコンに「防災情報」「防災行政無線情報」「防犯情報」をお届けするメール配信サービスを行っています。

配信内容

防災情報

- 気象警報（波浪警報を除く）および津波注意報（その他の注意報を除く）が発表されたとき配信
- 田原市内に設置の震度計で地震の揺れを観測したとき配信
- 東海地震注意情報などの東海地震関連情報が発表されたとき配信
- 台風などの自然災害が心配されるときなどに配信

防災行政無線情報

- 防災行政無線（同報無線）で市内全域に放送した内容を配信
  ※地区ごとに放送される地区放送などは配信しません。

防犯情報

- 児童・生徒を対象とした防犯情報（不審者情報等）の配信

登録の方法

パソコンから

❶田原市ホームページを開く
http://www.city.tahara.aichi.jp
❷「救急・災害」メニューの「安心安全ほっとメール」にアクセス
❸ガイドに従い、配信希望の内容と受信するメールアドレス（携帯電話・パソコン）を登録

携帯電話から

❶下記メールアドレスに空メール（件名・本文は空欄）を送信
tahara.anshinanzen@fofa.jp

◆QRコード登録
カメラ付携帯電話から画像読み取りで登録ができます。

登録用

解除用

❷ガイドに従い、配信希望の内容と受信するメールアドレスを登録

注）1　迷惑メールフィルタ等の設定をされている方は、なりすまし規制を「中」以下に設定し、bousai@city.tahara.aichi.jpからのメールを受信できるように設定をお願いします。
注）2　配信内容の変更については、改めて登録をお願いします。

解除の方法

登録解除は、配信メールに添付のアドレスまたは上記の解除用QRコードから行ってください。

16 東海地震関連情報

気象庁が発表する「東海地震に関連する情報」

情報名		主な防災対応等
東海地震予知情報 東海地震が発生するおそれがあると認められ、「警戒宣言」が発せられた場合に発表される情報 （カラーレベル　赤）		「警戒宣言」に伴って発表 **●警戒宣言が発せられると** ○地震災害警戒本部が設置されます ○津波や崖崩れの危険地域からの住民避難や交通規制の実施、百貨店等の営業中止などの対策が実施されます 住民の方は、テレビ・ラジオ等の情報に注意し、東海地震の発生に十分警戒して、「警戒宣言」および自治体等の防災計画に従って行動してください
東海地震注意情報 観測された現象が東海地震の前兆現象である可能性が高まった場合に発表される情報 （カラーレベル　黄）		東海地震の前兆現象である可能性が高まった場合に発表 **●東海地震に対処するため、以下のような防災の「準備行動」がとられます** ○必要に応じ、児童・生徒の帰宅等の安全確保対策が行われます ○救助部隊、救急部隊、消火部隊、医療関係者等の派遣準備が行われます 住民の方は、テレビ・ラジオ等の情報に注意し、政府や自治体などからの呼びかけや、自治体等の防災計画に従って行動してください
東海地震に関連する調査情報 東海地震に関連する現象について調査が行われた場合に発表される情報 （カラーレベル　青）	臨時	観測データに通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の原因についての調査の状況を発表 **●防災対応は特にありません** **●国や自治体等では情報収集連絡体制がとられます** 住民の方は、テレビ・ラジオ等の最新情報に注意して、平常通りお過ごしください
	定例	毎月の定例の判定会で評価した調査結果を発表 **●防災対応は特にありません** 日頃から、東海地震への備えをしておくことが大切です

各情報発表後、東海地震発生のおそれがなくなったと判断された場合は、その旨が各情報で発表されます

（気象庁資料）

◎「東海地震関連情報」が発表されたら?

家族で決めた仕事の役割にそってすばやく行動!

児童・生徒の引き取りは計画に従って

- 引き取りの計画は一律ではなく、学校ごとに作成。日頃から学校と連絡を取り合っておくことが大切。

危険地域はすばやく避難

- 津波、山崩れ、崖崩れなどの危険予想地域では、出火防止対策をとってから速やかに避難。
- その他の地域では、家の内外に安全なところで地震発生に備えること。

テレビやラジオで情報確認

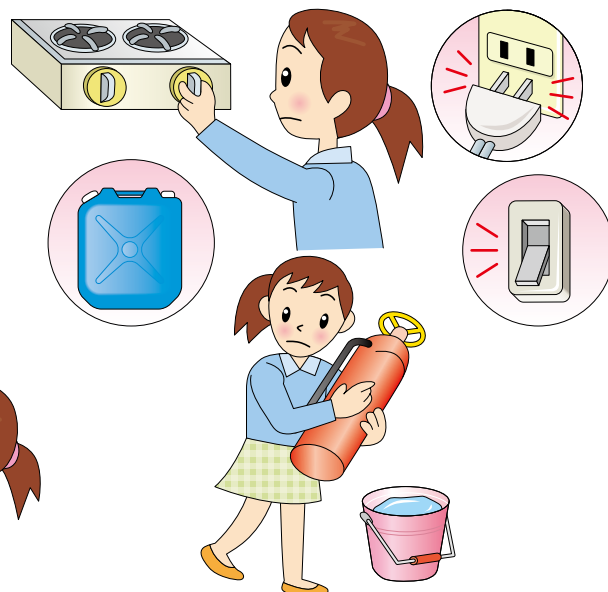
- 正確な情報をつかむことが大切。
- 市からの情報も確認。
- 隣近所でも情報交換を。ただし、デマ(流言)に注意。

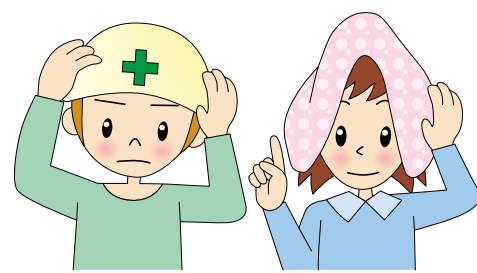
火を出さない対策を

- 火事にならないようにするのが一番。できるだけ火を使わないこと。
- やむを得ず火を使う時は、そばにいて十分注意。
- ガスの元栓を締め、プロパンガスはボンベのバルブも締める。
- 必要のない電気器具のコンセントは抜き、ブレーカーを切る。引火の恐れのあるものは、安全な場所へ。

家の中を再点検

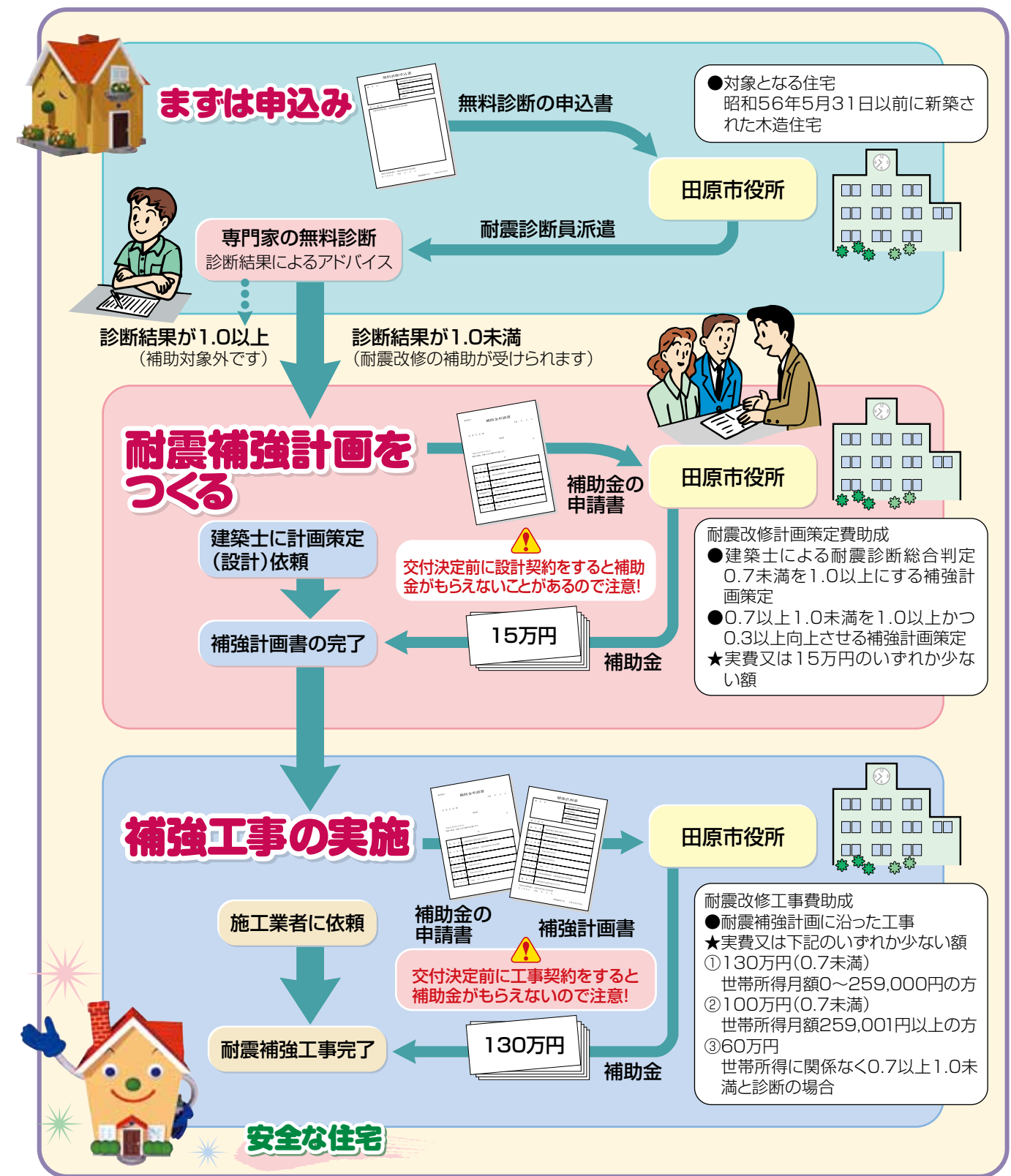
- 家族であらかじめ決めてある役割、計画に従って行動。
- 高いところに物を置いてないか、家具や食器棚の固定は大丈夫か。
- 出入口の確保も忘れずに。
- 水を蓄える。
- ガラスの飛散を防止。

非常持出品を再点検

服装は身軽に

- いざという時、行動しやすい服装に着替えること。
- 防災頭巾やヘルメットを着用。
- 物が散乱することを考えて、靴を履くことも忘れずに。

(静岡県資料に加筆)

17 あなたの家は大丈夫?

お問い合わせは建築課へ　TEL.23-3526

◎木造住宅の無料耐震診断と耐震補強計画・工事の補助金が受けられます。

◎非木造住宅の耐震診断と耐震補強工事の補助金が受けられます。

非木造とは?
主に鉄筋コンクリート造や鉄骨造の建物で木造以外のもの

非木造耐震診断

申請条件は「下記の全てに該当すること」
- 昭和56年5月31日以前に新築された非木造住宅
- 市の定める耐震診断者が診断を行うこと
- 市の定める耐震診断を行うこと

補助金の額は?
- [一戸建て住宅]
  実費又は下記のいずれか少ない額
  ①1,000円/㎡
  ②30万円
- [一戸建て住宅以外]
  実費又は下記のいずれか少ない額　ただし、100万円までとします。
  ①延べ床面積1,000㎡未満の部分は、1㎡あたり2,000円を乗じた額。
  ②延べ床面積1,000㎡以上で2,000㎡未満の部分は、1㎡あたり1,500円を乗じた額。
  ③延べ床面積2,000m以上の部分は、1㎡あたり1,000円を乗じた額。

非木造耐震補強工事

申請条件は「下記の全てに該当すること」
- 昭和56年5月31日以前に新築された非木造の一戸建て住宅
- 法令に定める地震に対して安全な構造にすること

補助金の額は?
- 改修工事補助額は実費又は下記のいずれか少ない額
  ①130万円　世帯所得月額0～259,000円の方
  ②100万円　世帯所得月額259,001円以上の方

耐震補強工事をすると税金の優遇があります

確定申告で、所得税額を控除
豊橋税務署　TEL.0532-52-6201

市町村の耐震改修費補助を利用した場合、耐震改修工事費の10%相当額(20万円を限度)が所得税額から控除されます。
確定申告をお忘れなく。(平成25年12月31日まで)

固定資産税も減額
税務課　TEL.23-3510

平成27年までに一定の条件に適合する耐震改修工事を行った場合、固定資産税額が減額されます。
※工事期間により減額期間が異なります。

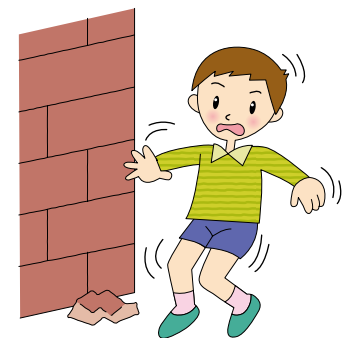
ブロック塀等の耐震改修補助制度

危険なブロック塀などを撤去の場合
建築課　TEL.23-3526

補助の対象
倒壊又は転倒のおそれのあるブロック塀で、道路又は避難地に面するもの

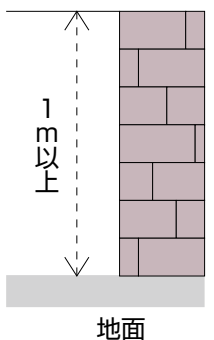
補　助　額
- 撤去工事実費(消費税込みの金額)×1/2=①
- 8,900円×撤去するブロック塀などの長さ(m)×1/2=②
  ①と②のいずれか少ない額で、一敷地10万円まで

補助の条件
○地盤からの高さ1m以上のブロック塀であること
○危険なブロック塀などは、全て撤去すること

＊生垣にする場合は田原市生垣設置奨励事業をご利用ください。
(街づくり推進課　TEL.23-3524)

危険なブロック塀などを改修の場合
建築課　TEL.23-3526

補助の対象
倒壊又は転倒のおそれのあるブロック塀で、指定道路又は避難地に面するもの

補　助　額
- 改修工事実費(消費税込みの金額)×1/2=①
- 38,400円×改修するブロック塀などの長さ(m)×1/2=②
  ①と②のいずれか少ない額で、一敷地30万円まで

補助の条件
○地盤からの高さ1m以上のブロック塀であること
○危険なブロック塀などは、全て撤去すること
○金属製フェンスなどへの転換及びブロック塀の造り替えなどにより安全な塀とすること
○新たにブロック塀を築造する場合は、建築基準法の規定に合する構造とすること
○金属フェンスなどの基礎は原則現場打ち鉄筋コンクリートとし、ブロック基礎は使用しないこと
○生垣への転換費用は含まない
○既存の塀に補強改修を施す場合には、愛知県策定の補強マニュアルに準ずること
○塀の造り替え及びフェンスなどへの転換については、建築基準法(昭和25年法律第201号)第42条第2項の道路内には築造しないこと

18 日頃の備え 家具の転倒を防ぐには

家の耐震性が十分でも、落下物や転倒した家具、ガラスの破片などにより被害にあうことがあります。災害時に、家の中での被害を少なくするために、家具の固定やガラスの飛散防止対策をしましょう。

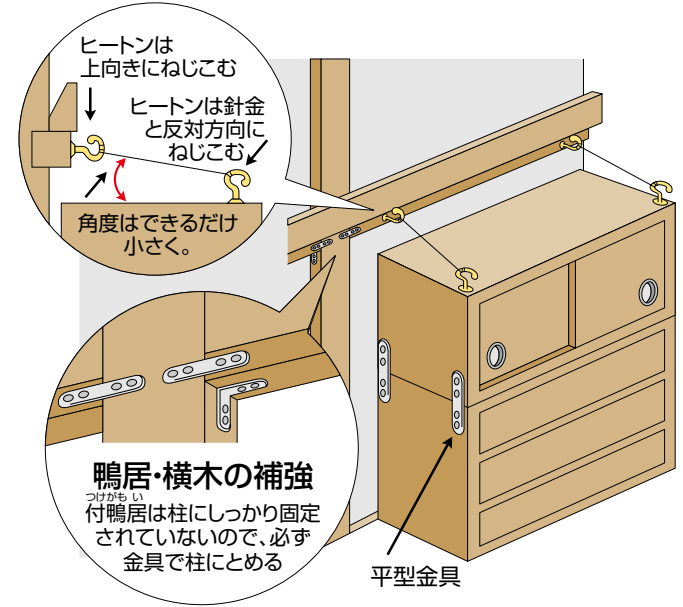
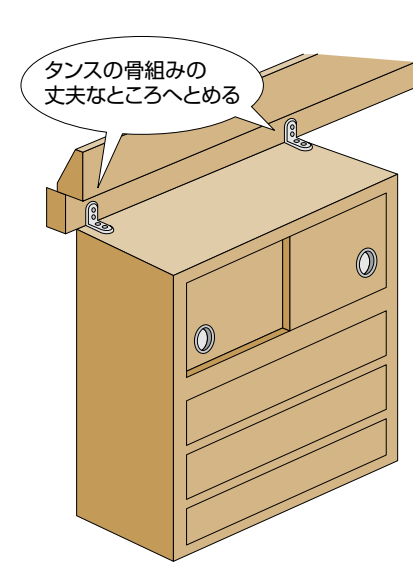
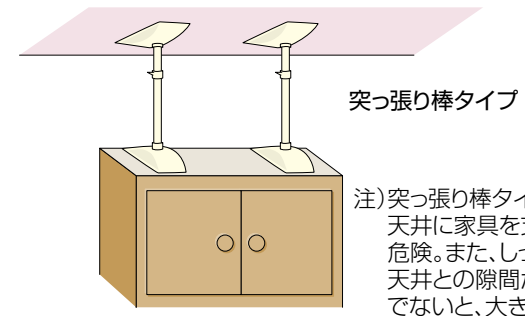
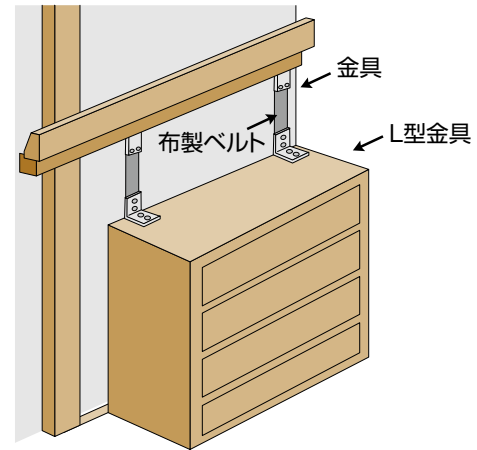
固定方法

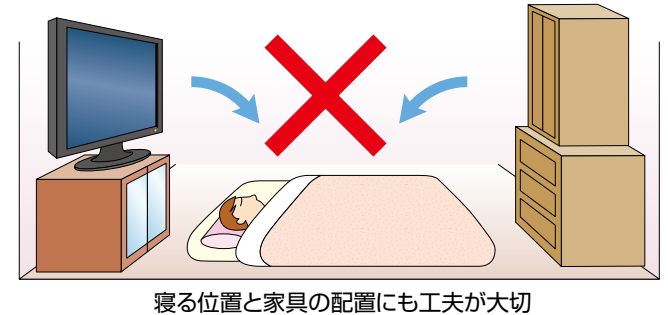
背の高い家具は、鴨居(かもい)(横木)に針金やL型金具でとめる。

針金でとめる

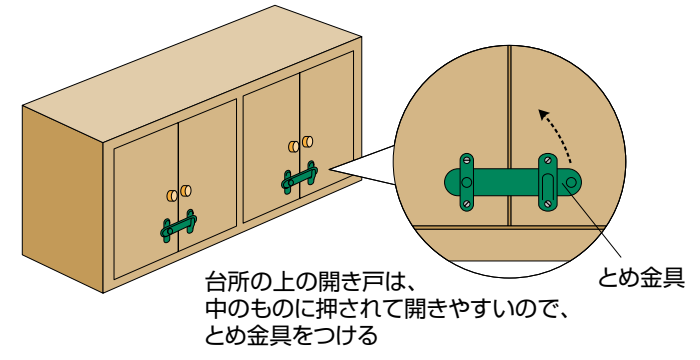
ヒートンは上向きにねじこむ
ヒートンは針金と反対方向にねじこむ
角度はできるだけ小さく。

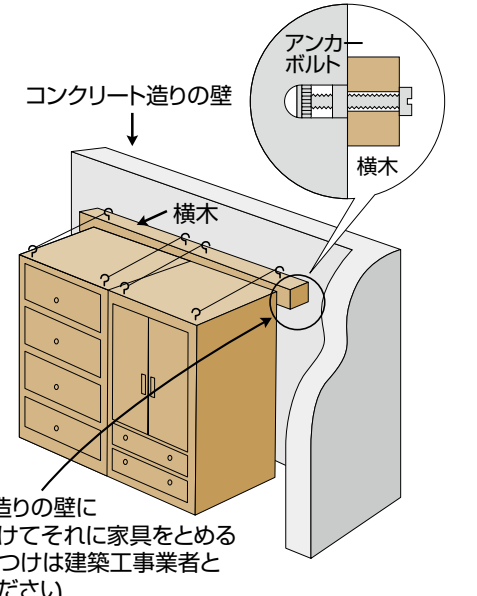
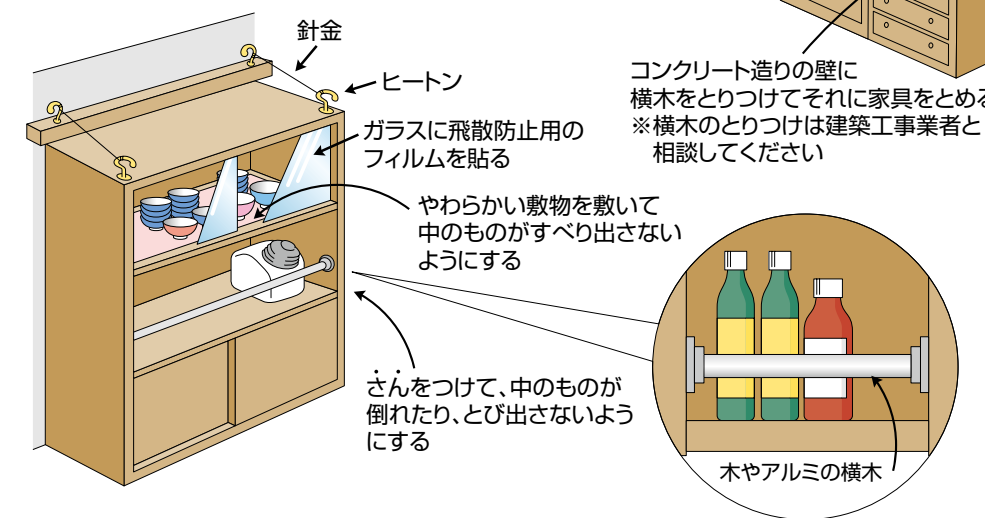
鴨居・横木の補強
付鴨居(つけがもい)は柱にしっかり固定されていないので、必ず金具で柱にとめる

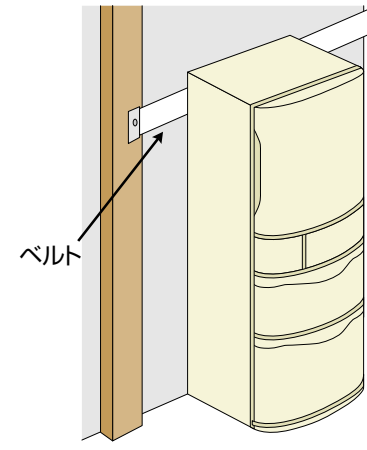
平型金具

L型金具でとめる

背の低い家具は、鴨居に布製ベルトでとめる。

注)突っ張り棒タイプのものを利用するには、天井に家具を支えるだけの耐力が無いと危険。また、しっかりした天井の場合でも、天井との隙間が少なく奥行きのある家具でないと、大きな効果は期待できない。

寝る位置と家具の配置にも工夫が大切

CHECK!

- 重い家具は寝室に置かない。
- 重い荷物は高いところに置かない。
- 家具の配置を考えて安全なスペースを確保。

開き戸をとめる

食器戸棚をとめる

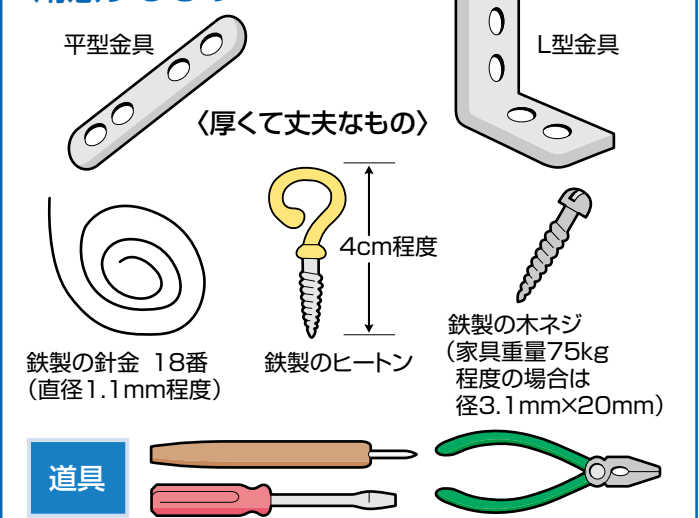
鉄筋コンクリート造りの住宅に家具をとめる

冷蔵庫をとめる

冷蔵庫の裏側にある取手(手カケ)に固定用ベルトを通して固定するのが一般的。詳しくは取扱説明書をよく読んでください。分からないことは購入した店やメーカーにお問い合わせください。

CHECK!

柱の見えない壁に家具をとめる場合は、壁をたたいて中の間柱(まばしら)などのあるところをみつけてとめましょう。

CHECK!

(静岡県資料に加筆)

19 日頃の備え 非常持出品・備蓄品

非常持出品は家族構成を考えて必要なものを用意しておきましょう。また、少なくとも一年に一回は、点検を行いましょう。

あると便利な物

東日本大震災では、長引く避難生活の中で、さまざまなグッズが注目されました。

ビニール袋
大型ビニール袋は、中央部に穴をあけ、頭からすっぽりかぶるとレインコートに。ダンボール箱の中に重ねれば簡易トイレに。水の運搬にも使えます。さらに、火災の際、空気を入れ換えてかぶると煙を吸わずに避難できると言われています。サイズの小さいものも何かと便利です。

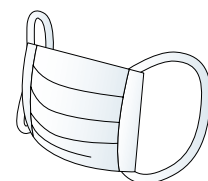
バイク・自転車
混乱する交通網の中で、機動力を発揮します。

ウエットティッシュ
水が不足している時に顔や手をふきます。傷口をふいたり、シャンプーできない時に。

ラップ
食器にかぶせて使い、食後にラップを外せば洗わなくてもすみます。水がないとき重宝します。

水のいらないドライシャンプー

トイレットペーパー
本来の目的の他に、食器の汚れをふきとったり、タオル代わりに。

バール・ジャッキ
倒壊した家から、家族を救出するのに自動車のジャッキを使った人がいました。また「バールさえあれば助け出せた」という事例もありました。

マスク
救出・救助の時のほこりを防ぐのにも役立ちます。

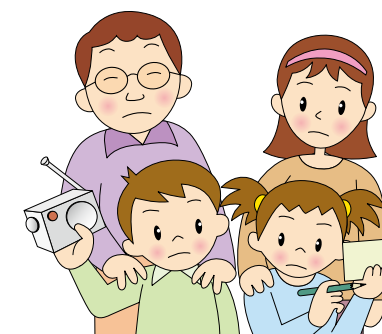
〈その他〉
①簡易トイレ
②寝袋
③毛布
④使い捨てカイロ
⑤保険証などのコピー

◎食料・飲料水の備蓄

突然地震が起きたとき、食料の蓄えが全くなかったら…。特に地震が起きた直後は、食料の確保は満足にできません。救援活動が受けられるまでの間の食料は各家庭で蓄えておく必要があります。

食料
非常食3日分(できれば7日分)程度を用意しておきましょう。

飲料水
1人につき、1日3リットルの水を最低3日分用意しておきましょう。

●食料品や飲料水は定期的に点検し、古くなったものは入れ替えましょう。

CHECK!

赤ちゃんのいる家庭では
ミルク、哺乳ビン、離乳食、スプーン、オムツ、清浄綿、おんぶ紐、バスタオル又はベビー毛布、ガーゼ又はハンカチなどを追加。

赤ちゃん用のミルクは哺乳瓶の両側を使い捨てカイロで包めば温かくなります。

これは便利
多目的に水を使いたい
● 風呂にはってある水
● 水洗トイレのタンク内の水
など

CHECK!

妊婦さんのいる家庭では
脱脂綿、ガーゼ、サラシ、T字帯、清浄綿、新生児用品、チリ紙、ビニール風呂敷、母子手帳、新聞紙などを追加。

CHECK!

夜、寝るときは
身近な所に、懐中電灯、ラジオ、スリッパ(靴)などを置いておきましょう。(素足では、割れたガラスでケガをします。)

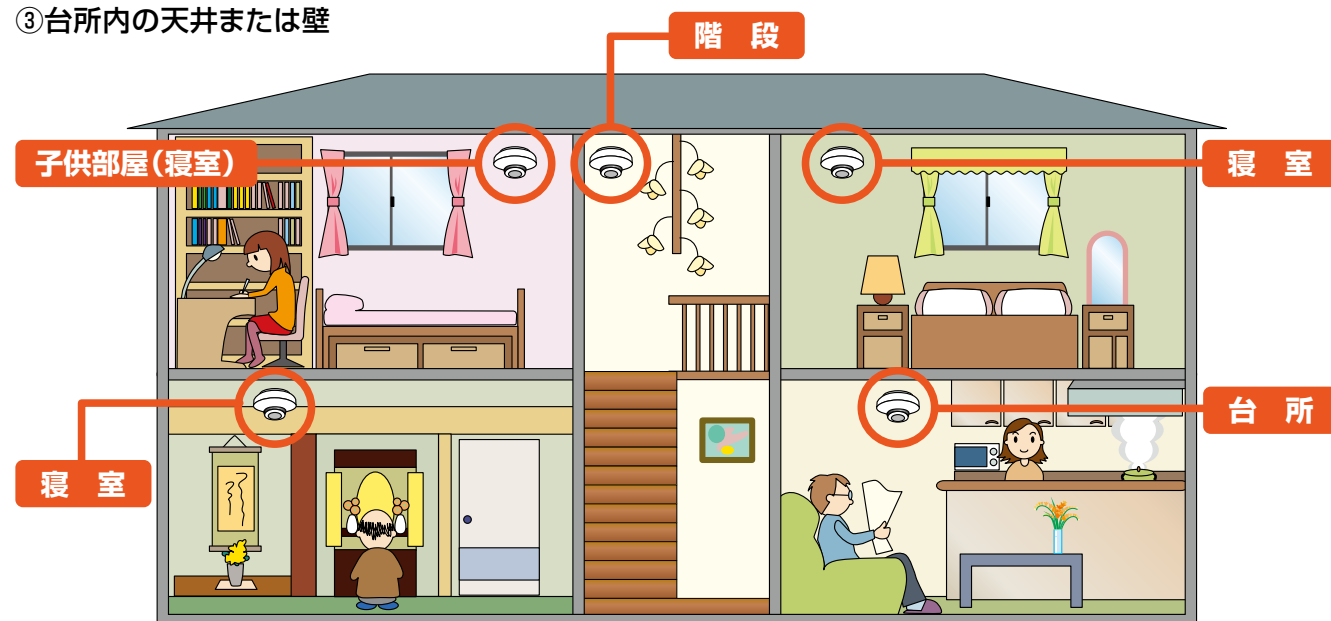
日頃の備え 火災予防対策

すべての住宅に、「煙式」の「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられています。少しでも早く火災の発生に気付けば助かる可能性が高くなります。火災からの逃げ遅れを防ぐために、「住宅用火災警報器」を設置しましょう。
また、家のどこに「消火器」があるのかを確認しておき、いざというときに初期消火ができるように消火器を備えておきましょう。

◎住宅用火災警報器とは?

火災により発生する煙を自動的に感知し、警報ブザーや音声により火災の発生を知らせるものです。住宅内の天井または壁に取り付けます。
※日本消防検定協会の検定に合格したNSマークが表示されているものをお勧めします。

◎住宅用火災警報器の設置場所

①寝室の天井または壁(子供が就寝する部屋なども含む)
②寝室のある階の階段の踊り場の天井または壁
③台所内の天井または壁

CHECK!

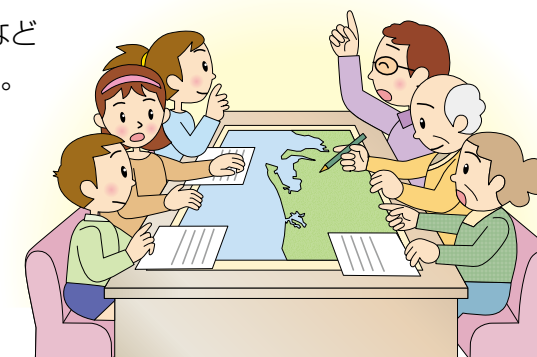
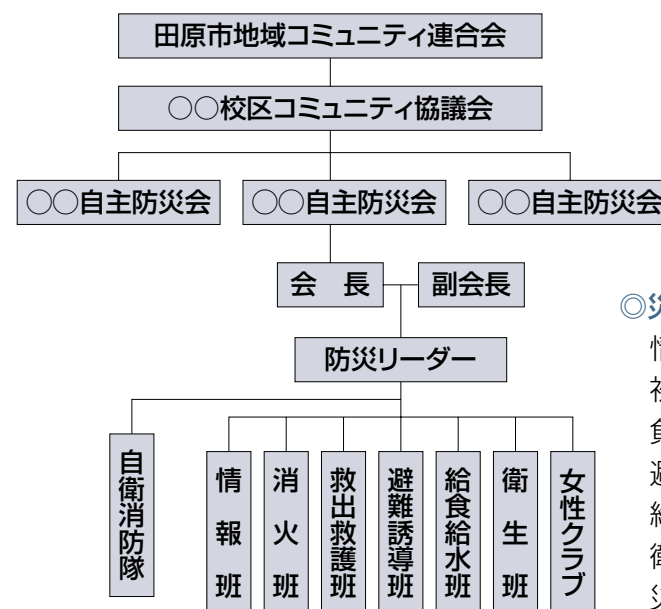
- 住宅用火災警報器は必ず設置。定期的に点検を。
- 消火器も必ず設置。使い方も理解しておく。
- 消火器や消火器具は、見やすく取り出しやすい場所に。
- 燃えやすいものなどは、火気の上や周りに置かない。
- ガスボンベ、灯油容器などには転倒防止の工夫を。
- ガスの元栓、電気ブレーカーの位置は家族全員で確認。操作方法も理解しておく。

日頃の備え 自主防災会活動に参加しよう

自主防災会

災害が起こった場合、被害を最小限にとどめるように防災関係機関は総力をあげて防災活動に取り組みます。しかし、大災害では、火災をはじめ、道路の寸断、断水など、さまざまな被害が広い範囲で発生し、消防や警察などの公的機関による救護活動がすぐに行われない場合もあります。そんなとき、地域のみなさんが消火、救出、救護などの活動に取り組み、被害を最小限にとどめるようお互いに協力し合うことが必要です。

「自分の命は自分で守る自分たちの地域は自分たちで守る」

田原市には103の自主防災組織があり、防災訓練などの活動を通じて被害の防止及び軽減を図っています。

◎津波避難行動のポイント

津波から命を守るためには、地震を感じたら、いち早く避難行動をおこすことが重要です。
南海トラフ巨大地震による被害想定では、東海地方に最も被害が大きい場合の津波による死者数は、防災意識が「低い場合」と「高い場合」では大きな違いがあります。

■東海地方が大きく被災するケースの津波による死者数

避難率が低い場合の死者数	避難率が高い場合の死者数
愛知県：　約6,400人	愛知県：　約2,900人
全　国：約230,000人	全　国：約117,000人

「避難率が高い」とは、各個人が常に高い防災意識を持つことと、逃げる場合には、隣近所に大声を出し、避難を呼びかけながら逃げるなど、普段から隣近所のお付き合いが良好になっている状態を意味します。すなわち、これが隣人愛に基づく自主防災会です。

日頃の備え あなたの避難場所はどこですか?

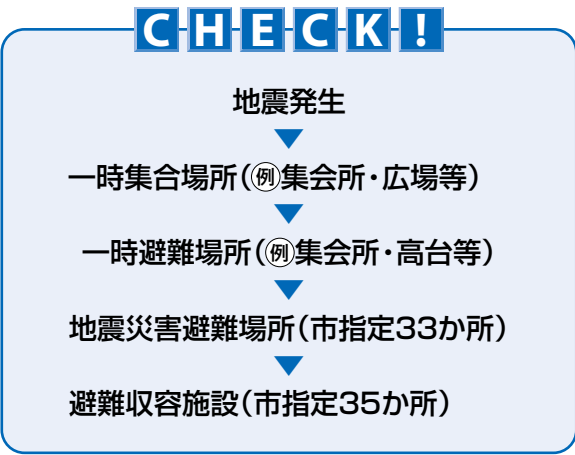
地震災害避難場所・避難収容施設

田原市の避難方法は、まず自宅周辺の安全な場所へ自主的に避難するというものです。

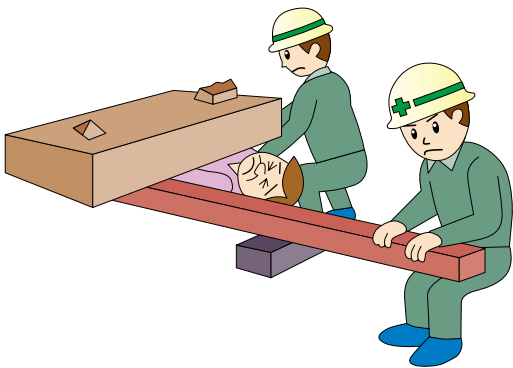
地震が発生したら、すぐに市指定の避難所に避難ではありません。自宅の被害が少なければ、避難する必要はありません。

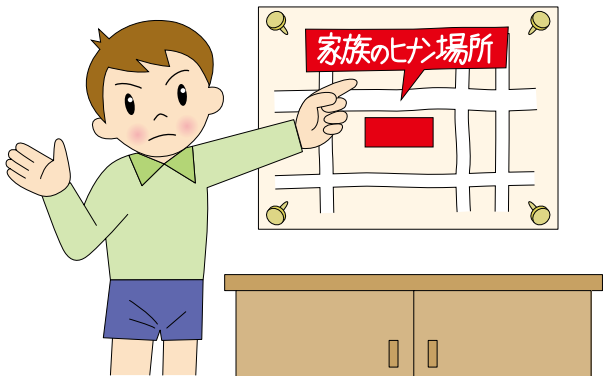
- ただし、がけ崩れや火災の延焼の恐れがある場合、又は、家屋が被害を受けて居住不能の場合は、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締め、速やかに避難しなければなりません。
- なお、海岸や河川、避難対象区域にいる人は、ただちに高台へ避難してください。

CHECK!

地震発生
▼
一時集合場所(㊞集会所・広場等)
▼
一時避難場所(㊞集会所・高台等)
▼
地震災害避難場所(市指定33か所)
▼
避難収容施設(市指定35か所)

◎まず人命確保が第一

二次災害の防止と、隣近所の助け合いが必要です。

- 生き埋めになっている人やけがをしている人の救出救護活動を。
- 火災が発生した場合は、初期消火活動を。(救急車・消防車が必ず来るとは限りません)

◎安全に避難するための8か条

①避難する前に、もう一度火元を確かめる。
　ブレーカーを切る。ガスの元栓を締める。
②荷物は最小限にする。
③玄関に避難先や安否情報を記したメモを残す。
④長袖・長ズボンなどの安全な服を着用し、ヘルメットや防災頭巾で頭を保護する。
⑤避難は徒歩で。
⑥お年寄りや子どもの手はしっかり握る。
⑦隣近所に声をかけ、自主防災会で決められた集合場所へ。
⑧避難するときは、狭い道・ブロック塀・川べりなどは避ける。

◎地震災害避難場所及び避難収容施設一覧表

がけ崩れや延焼の恐れのある場合、家屋が被害を受け居住不能の場合は、自主防災会(避難誘導班)の指示に従い、指定の避難所へ避難してください。

地震災害避難場所

地震災害避難場所	地区名
六連小学校運動場	六連校区
東部中学校運動場	川岸、漆田一区、漆田二区、漆田三区、神戸市場
愛知みなみ農協ふれあい支店前広場	東赤石、サンコート
神戸小学校運動場	青津、希望が丘、赤松、志田、新美、南町、谷ノ口、東ヶ谷
大草小学校運動場	大草校区
田原東部市民館前広場	相川、谷熊、やぐま台
田原東部小学校運動場	豊島、御殿山
南部保育園運動場	大久保
田原南部市民館前広場	大久保
童浦小学校運動場	吉胡、木綿台、吉胡台、片浜、白谷、片西
童浦市民館前広場	浦
笠山農村公園	西浦、波瀬、姫見台、光崎
田原中学校運動場	巴江
田原中部小学校運動場	萱町
成章高校運動場	本町、新町
衣笠小学校運動場	衣笠校区
芦ヶ池農業公園サンテドーム前広場	芦
野田中学校運動場	南、彦田、雲明、野田市場
野田小学校運動場	保井、東馬草、山ノ神、西馬草、今方、北海道、仁崎、ほると台
高松小学校運動場	高松校区
赤羽根中学校運動場	赤羽根校区
若戸小学校運動場	若戸校区
和地市民館前広場	和地、土田
伊良湖岬中学校運動場	小塩津、和地一色
渥美運動公園野球場	堀切
伊良湖小学校運動場	伊良湖校区
亀山小学校運動場	亀山校区
中山小学校運動場	小中山
福江中学校運動場	中山、向山
福江小学校運動場	長沢、福江、保美
清田小学校運動場	清田校区
泉小学校運動場	江比間(紺屋川以西)、伊川津、石神、夕陽が浜
泉市民館前広場	宇津江、江比間(紺屋川以東)、八王子、村松、馬伏

避難収容施設

避難収容施設	地区名	医療救護所
六連小学校	六連校区	
東部中学校	川岸、漆田一区、漆田二区、漆田三区、神戸市場	◎
神戸市民館	東赤石、サンコート	
神戸小学校	青津、希望が丘、赤松、志田、南町、谷ノ口、東ヶ谷	
大草小学校	大草校区	
田原東部市民館	相川、谷熊、やぐま台	
田原東部小学校	豊島、御殿山	
南部保育園	大久保	
田原南部市民館	大久保	
童浦小学校	吉胡、木綿台、吉胡台、片浜、白谷、片西	
童浦市民館・浦区事務所	浦、光崎	
北部保育園	西浦、波瀬、姫見台	
田原中学校	巴江	◎
田原中部小学校	萱町	○
成章高校	本町、新町	
衣笠小学校	衣笠校区	
芦ヶ池農業公園サンテドーム	芦	
野田中学校	南、彦田、雲明、野田市場	○
野田小学校	保井、東馬草、山ノ神、西馬草、今方、北海道、仁崎、ほると台	
高松小学校	高松校区	
赤羽根中学校	赤羽根校区	◎
若戸市民館	若戸校区	
和地市民館	和地、土田	
伊良湖岬中学校	小塩津、和地一色	○
渥美運動公園体育館	堀切	
伊良湖小学校	伊良湖校区	
亀山小学校	亀山校区	
中山小学校	小中山 ※第1次	
福江中学校	中山、向山	◎
福江小学校	長沢、福江、保美	
清田小学校	清田校区	
泉小学校	江比間(紺屋川以西)、伊川津、石神、夕陽が浜 ※第1次	○
泉市民館	宇津江、江比間(紺屋川以東)、八王子、村松、馬伏 ※第1次	
渥美文化会館	小中山、宇津江、江比間、石神、夕陽が浜 ※第2次	
福江高校体育館	八王子、村松、馬伏、伊川津 ※第2次	

※小中山地区・泉校区の方々については、第1次が使用不能な場合は、第2次を使用します。
●警戒宣言が発令された場合、及び大規模地震が発生した場合、避難場所・避難収容施設には市の職員が配置され、避難所の開設及び運営を避難された方々と一緒に行います。
●医療救護所は、第1次4か所、第2次4か所の計8か所が避難所とあわせて指定されていますので、どこの避難路が最も搬送に適しているか調べておきましょう。(◎:第1次、○:第2次)
●避難場所ではリーダーの指示に従いましょう。
●各避難所の位置は、「田原市防災マップ」で確認してください。

CHECK!

地震発生後、被害が出た場合、市役所に災害対策本部が設置され、市内33か所の地震災害避難場所と35か所の避難収容施設が開設されます。また、災害対策本部では、市長を本部長に各部ごとに班編成を行い、段階的に活動を行います。

◎避難場所では

①生活場所の提供　②水、食料、物資の提供
③トイレなどの衛生環境の提供　④生活情報、再建情報の提供
※家族の安否確認や、生活情報、救助活動はまず避難所へ!
※避難所は、地域のライフラインが復旧する頃を目途に閉鎖します。

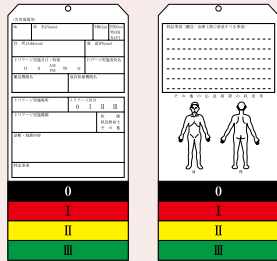
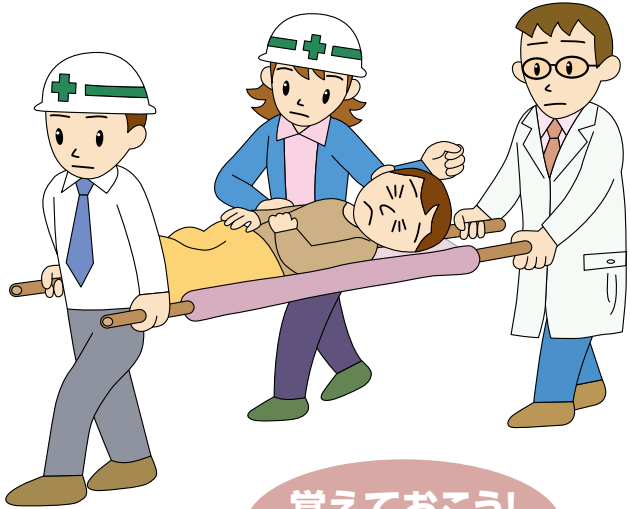
◎拠点病院と医療救護所を知っていますか?

CHECK!

●災害時医療拠点 …… 渥美病院
●医療救護所 ………… (第1次)東部中、田原中、赤羽根中、福江中
(第2次)田原中部小、野田中、伊良湖岬中、泉小

＊「トリアージ」とは、災害発生時など、多くの傷病者が同時に発生した場合、病気やけがの緊急度や重症度を判定して、治療や搬送の優先順位を決めることをいいます。

トリアージタッグ

①負傷者は、まず近くの医療救護所・渥美病院へ!
②中等傷患者・重傷患者は医師の指示で渥美病院へ!
▶中等傷患者：入院は必要ないが、医師の処置が必要な者
▶重傷患者：入院を必要とする者
③患者の搬送は、家族または自主防災会で行ってください。
(救急車が必ず来るとは限りません。)
④軽傷者は、あらかじめ準備してある医薬品(家族・自主防災会)を使用し、手当てを行ってください。

覚えておこう! 医療救護所

CHECK!

◆LPガス
地震発生後は、津波や火災による二次災害が心配されます。避難するときは、ガスボンベのバルブやガスメーターの元栓を閉めてから、安全な場所へ避難しましょう。

※漏電の心配もあるため、電気のブレーカーも落としましょう。

23 心肺蘇生と応急手当

災害時には、いつケガに見舞われるかわかりません。一刻を争う事態の時は、適切な心肺蘇生と応急手当ができるかどうかが、患者を救うカギとなります。

- ▶倒れている人を見つけたら、周囲の安全を確認しながら近づき、軽く肩をたたいたり、大声で呼びかけたりします。
- ▶そして反応がない場合は、その場で大声で叫んで周囲の人に知らせ、心肺蘇生を開始します。
- ▶誰かが来たら、その人に119番通報とAEDの手配（近くにある場合）を依頼します。
- ▶普段どおりの呼吸がない場合は、心肺蘇生を行います。
- ▶応急手当には、「してはいけないこと」もあります。

①反応がない場合は、うつぶせに寝かしてはいけません。反応はないが、普段どおりの呼吸がある場合は、体を横向きにして寝かせ、頭を後ろにそらせます。（回復体位）

②反応がなかったり、吐き気をもよおしていたりする人には、水分を与えてはいけません。

③首や背骨を損傷しているおそれのある場合は、むやみに動かしてはいけません。

④頭部にけがをしている時は、頭が身体より低くなるようにしてはいけません。

⑤無理な手当てを試みてはいけません。

◎心肺蘇生

① 呼吸の観察

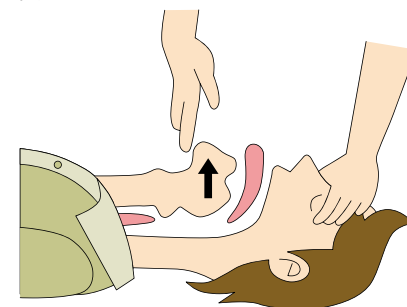
- ●胸、腹部の動きがあるか、普段どおりの呼吸をしているかを見て観察します。
- ●呼吸がなかったり、普段どおりの呼吸をしていない場合は、胸骨圧迫（心臓マッサージ）をします。

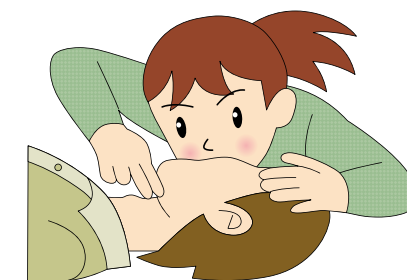
② 胸骨圧迫（心臓マッサージ）

胸骨（胸の真ん中にある骨）を圧迫して全身に血液を循環させるのが胸骨圧迫（心臓マッサージ）です。

- ●平らな場所にあお向けに寝かせ、救助者は、その横わきに両ひざ立ちの姿勢をとります。
- ●胸の真ん中に片方の手の付け根を当て、もう一方の手を重ねて置きます。
- ●ひじを伸ばし、垂直に圧迫します。
  - **成　人**：両手で胸が少なくとも5cm沈むくらい圧迫します。
  - **小　児**：片手または両手で胸の厚さの1/3くらい沈むように圧迫します。
  - **乳　児**：左右の乳首を結ぶ線より少し足側を指2本で胸の厚さの1/3くらい沈むように圧迫します。
- ●圧迫と圧迫の間（圧迫をゆるめる時）は、胸がしっかり戻るまで十分に圧迫を解除します。この動作を少なくとも1分間に100回のリズムで繰り返します。
- ●胸骨圧迫（心臓マッサージ）30回と人工呼吸2回を繰り返します。
- ●何らかの応答や目的のある仕草（例えば嫌がるなどの動き）が現れるか、救急隊などが到着するまで続けます。
- ●協力者がいる場合は、胸骨圧迫（心臓マッサージ）は1～2分を目安に交代します。

③ 気道確保

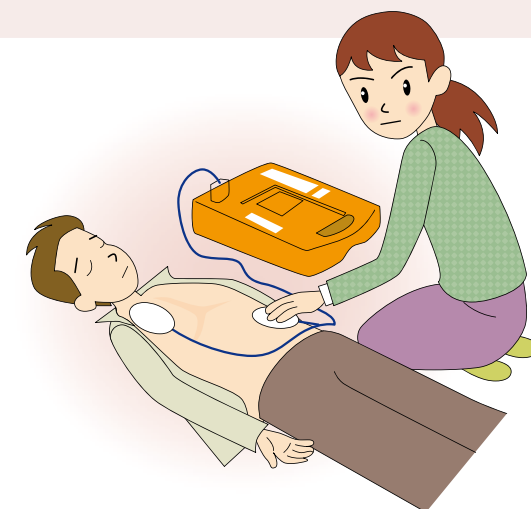
- ●平らな場所にあお向けに寝かせ、片手で倒れている人の額を押さえ、もう一方の手の人差し指と中指を下あごの先に当て持ち上げるようにして頭を反らします。

④ 人工呼吸

- ●鼻をつまみ、口のまわりから息がもれないように患者の口を覆い、胸が上がるのが見て分かる程度の量を約1秒間かけて吹き込みます。
- ●できれば感染防護具を使用することが望ましいです。
- ●人工呼吸の息が入らず、胸が膨らまなくても、次の胸骨圧迫（心臓マッサージ）を行います。
- ●食物などの異物が口の中に見えた場合は、指にハンカチなどを巻き、ぬぐうように取り除きます。
  ※胸骨圧迫（心臓マッサージ）が中断しないように注意を。

⑤ AED

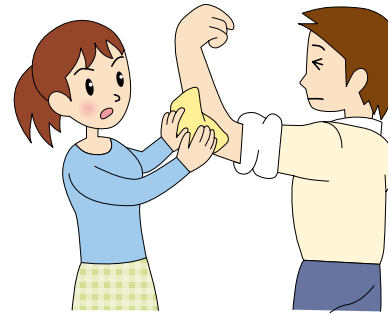
AED（自動体外式除細動器）は、自動的に心臓の状態を判断し、必要に応じて電気ショックを与え、心臓の働きを正常に戻すことを試みる器械です。
突然死の死因のほとんどは心臓疾患です。その大部分は心室細動という病気です。
心室細動になると心臓がけいれんし、ポンプとしての役割が果たせず、助かるチャンスは1分経過するごとに約10％ずつ失われ、10分後にはほとんどの人が死に到ります。この心室細動を正常な状態に戻す唯一の方法は除細動（心臓への電気ショック）です。

- ●注意点と対処法
  - ①胸が濡れている　⇒　拭いてから使用
  - ②胸部に貼布薬がある　⇒　はがして拭いてから使用
  - ③医療器具が胸に埋め込まれている　⇒　離して使用

CHECK!

AEDは、市内の市民館や保育園、小中学校などの公共施設に設置されています。詳しくは、田原市消防本部のホームページで確認しましょう。

◎応急手当

①止血法

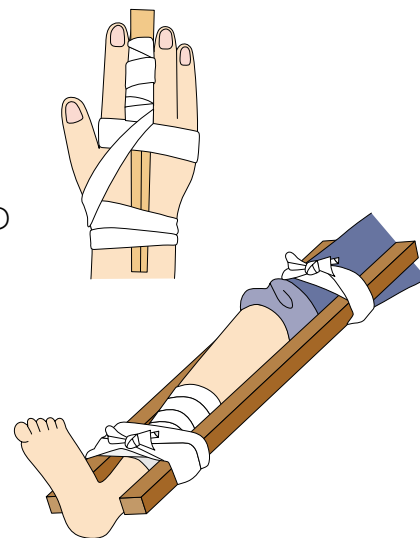
●傷口を止血する（直接圧迫止血法）／傷口に、ガーゼやきれいなハンカチなどを直接あて、強く圧迫します。
●傷口を心臓より高い位置にすると、より止血効果があります。
●できるだけ手袋やビニールを使用し、感染予防に努めます。

②やけど

●やけどした部分をできるだけ早く流水で冷やします。（痛みや熱を感じなくなるまで冷やします。）
●やけどした部分に直接強い水圧をかけないようにします。
●衣服を着ている場合は、衣類の上から静かに水をかけます。皮膚と衣服が癒着している場合は、無理にはがさないようにします。

※水ぶくれができた場合は、水ぶくれをつぶさないように注意してください。つぶすと感染を起こし、治るのが遅れることがあります。
※やけどの範囲が広い場合は、冷やすときに体が冷えすぎないように注意し、10分以上は冷やさないようにします。

③骨折

●動かないようにして、傷や出血の手当てをします。
（けがをした部分が不自然に変形している。はれて痛みが激しい。骨が突き出ている。）これらの場合は骨折の可能性が高い。

●骨折している場合は、副木を当て、骨折した部分の上と下の関節を固定します。
（副木の代用となる身近なもの：板きれ・傘・わりばし・ダンボール・雑誌・座布団など）

CHECK!

消防署では、救急法講習会（心肺蘇生法、止血法、三角巾の取り扱いなど）を実施しています。グループでの申込みも随時受付けています。

■問い合わせ先：田原市消防署　TEL.23-0119

24 災害時要援護者へも心くばり

災害時要援護者（高齢者、身体的･知的な障害がある人、妊婦、外国人など）は、災害が発生した場合、情報把握、避難、生活の確保などの活動を、的確かつ迅速に行いにくい立場に置かれてしまいます。私たち一人ひとりがお互いに協力し合い、地域が一丸となって積極的な支援を行えるよう心がけましょう。

耳が不自由な人

●話をするときはまっすぐ顔を向け、口はなるべく大きくゆっくり動かして話す。
●筆談（筆記法）は手のひらに指先で文字を書くやり方でもよい。

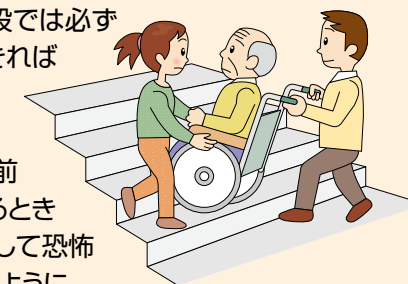
高齢者･傷病者

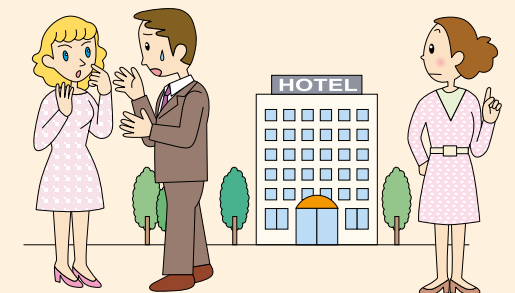
●援助が必要なときは、複数の人で対応する。
●急を要するときは、ひもなどで背負い、安全な場所まで避難する。

目の不自由な人

●杖を持った方の手はとらない。
●ひじの少し上をつかんでもらい、ゆっくり歩き誘導する。
●方向や目の前の位置などは、時計の文字盤の位置を想定して伝える。

肢体の不自由な人

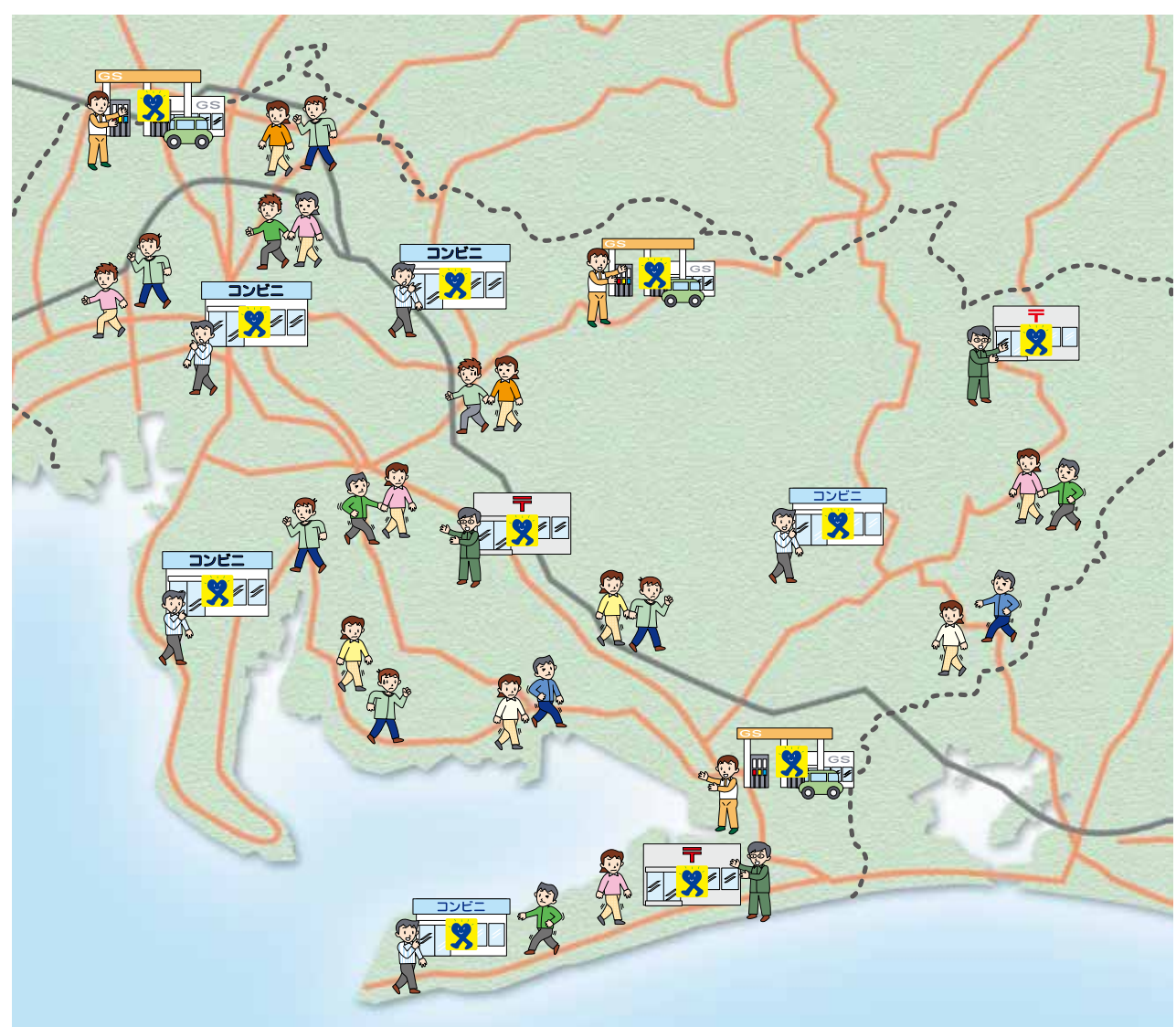
●車椅子は、階段では必ず2人以上、できれば3～4人で援助する。
●上がるときは前向きに、下がるときは後ろ向きにして恐怖感を与えないように。
●とっさの脱出、避難の際に要救援者1人に対して救援者が2人以上いるとは限らない。ひもなどで背負い、救援者の両手は自由がきくようにする。

外国人･旅行者

●とっさのときは、身振り手振りで話しかけ、孤立させないようにする。
●旅先では非常口の確認を。

防災ボランティア

東日本大震災のように大きな災害がおきれば、ボランティアが活躍します。自らの地域を守る自主防災組織などに対して、ボランティアは被災者のために全国から駆けつけてきます。そのボランティアが十分に力を発揮するためには、ボランティアの熱意と被災者からのニーズを調整するボランティア･コーディネーターおよびボランティア同士の協力･連絡が必要不可欠です。迷惑ボランティアにならないように、現地へ自動車で行かないなど、自己完結できるようにしましょう。

25 帰宅困難者への支援

帰宅困難者を支援します

イメージ図

市、鉄道事業者、学校、企業、県や周辺市町村との連携

東海地震の警戒宣言発令時や大地震の発生直後、鉄道やバスなどの公共交通機関が運行停止になった場合、オフィス街、駅ターミナル、繁華街や電車内などにいた大量の人々が足止めされ、帰宅困難者となります。
県や市町村等が連携し、この人々が徒歩で帰るためのルートを設定し、そのルート上に徒歩帰宅支援ステーションが設置されています。

徒歩帰宅支援ステーション

水、食料の購入、トイレの使用、一時休憩所として利用、災害情報の入手などが可能で、誰もが分かりやすく、利用しやすい場所で、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、郵便局などが指定されています。
（支援ステーションに指定された施設などには が掲示されています。）

自分が帰宅困難者にならないために

東海地震注意情報が発表されたら、児童、生徒はもちろん、遠方から通勤している方は、公共交通機関が動いている間に一刻も早く帰宅しましょう。

（愛知県資料から作成）

26 その他の災害

台風による災害

台風とは

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼び、このうち北西太平洋で発達して中心付近の最大風速が17.2m/s以上になったものを「台風」と呼びます。
田原市では過去に「伊勢湾台風」、「東三河集中豪雨」などの台風・大雨により何度となく大きな被害にあっています。台風や大雨の被害は、正確な気象情報を知ることで最小限にとどめることができます。気象庁が発表する注意報や警報などの情報に注意しましょう。

大きさの階級分け

階級	風速15m/秒以上の半径
大型（大きい）	500km以上～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

強さの階級分け

階級	最大風速
強い	毎秒33m以上～毎秒44m未満
非常に強い	毎秒44m以上～毎秒54m未満
猛烈な	毎秒54m以上

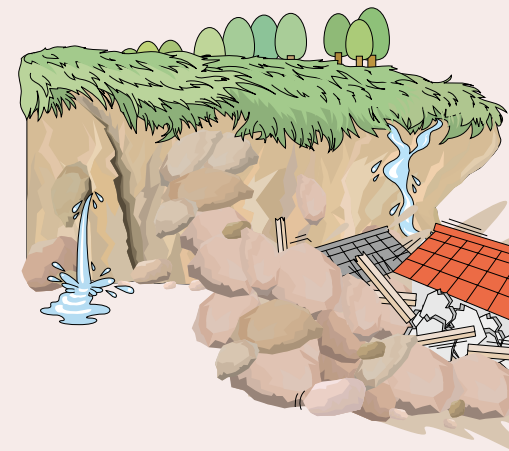
風・水害

平均風速	予測用語	人への影響	建造物の被害
10～15m/秒	やや強い風	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	しっかり取り付けられていない看板、トタン板が飛び始める。
15～20m/秒	強い風	風に向かって歩けない。転ぶ人も出る。	ビニールハウスが壊れ始める。
20～25m/秒	非常に強い風（暴風）	しっかり立っていないと転んでしまう。	シャッターが壊れ始める。飛んできた物で窓ガラスがわれる。
25～30m/秒		立っていられない。屋外での行動は危険。	ブロック塀が壊れ、しっかり取り付けられていない家の外装がはがれて飛び始める。
30m/秒～	猛烈な風	立っていられない。屋外での行動は危険。	屋根が飛び、家が倒れることもある。

1時間の雨量()	予測用語	人の受けるイメージ	災害発生状況
10～20mm	やや強い雨	ザーザーと降る。	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。
20～30mm	強い雨	どしゃ降り。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。
30～50mm	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。
50～80mm	非常に激しい雨	滝のように降る。（ゴーゴーと降り続く）	水しぶきで視界が悪くなる。地下に雨水が流れ込む。土石流が起こりやすい。
80mm～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

土砂災害

土砂災害に注意しましょう

田原市には、斜面崩壊（山崩れやがけ崩れなど）、土石流（山津波、鉄砲水など）の被害が予測される危険区域がたくさんあります。これらの区域は台風や集中豪雨、地震によって大きな被害を受けることが考えられますので、地域ぐるみで十分な注意が必要です。

こんな「がけ」は危険です

- はり出している「がけ」
- 勾配が30度以上、高さが5m以上の「がけ」
- 雨が集中して流れるところがある「がけ」
- 斜面に亀裂がある「がけ」
- 不安定な岩や土のかたまりがある「がけ」
- わき水が出ている「がけ」

（愛知県資料から作成）